倉敷埋蔵文化財センター年報 17

－平成 29・30 年度－

倉敷埋蔵文化財センター

2020.2

序　文

平成30年7月の豪雨により、西日本各地において災害が発生しました。本市真備町地域にもたらされた甚大な被害については、多くの方々が報道等で見聞されたことと存じます。

当地域は、畿内と大宰府を結ぶ山陽道が東西を横断し、奈良時代の遣唐使、そして右大臣として活躍した吉備真備ゆかりの地であります。ここには、国指定史跡の箭田大塚古墳をはじめとする歴史的遺産が数多く残されていますが、今回の水害で、遺跡そのものが直接の被害に遭うことはありませんでした。しかし、出土資料を展示していた真備歴史民俗資料館は1階天井まで水没し、西山遺跡出土の特殊器台（市指定重要文化財）をはじめ、多くの遺物が被害を受けました。

現在、これらの文化財については、修復に向けて努力しているところであり、その修復にあたっては、過去の報告書が不可欠な資料となっています。あらためて文書や写真での記録作成、保存についての重要性を認識する契機となりました。

さて、本年報は、倉敷埋蔵文化財センターが平成29年度と30年度に実施した教育普及事業及び発掘調査事業について、概要をまとめたものです。本書が当センターの事業に対する理解を深める一助となるとともに、現在の埋蔵文化財行政を後世に伝える資料となることを期待しています。

末筆ながら、平成30年7月西日本豪雨災害に被災された皆様に心からお見舞いを申し上げるとともに、全国の皆様方から賜った多大なご支援についてあらためて感謝を申し上げ、序文といたします。

令和2年2月29日

倉敷埋蔵文化財センター
館 長　浅野光正

目　次

■平成29年度■

Ⅰ 組織 ……1
Ⅱ 事業の概要 ……1
Ⅲ 教育普及事業報告 ……5
Ⅳ 調査事業報告 ……7
亀山遺跡確認調査報告 ……11
上東遺跡確認調査報告 ……12
溝落遺跡確認調査報告 ……13
Ⅴ 寄贈図書一覧 ……14

■平成30年度■

Ⅰ 組織 ……23
Ⅱ 事業の概要 ……23
Ⅲ 教育普及事業報告 ……27
Ⅳ 調査事業報告 ……29
浜町遺跡確認調査報告 ……33
上東遺跡確認調査報告 ……34
上東遺跡確認調査報告 ……35
中津貝塚範囲確認調査概要 ……36
上東遺跡確認調査報告 ……39
上東遺跡確認調査報告 ……40
黒宮大塚墳丘墓測量調査報告 ……41
Ⅴ 寄贈図書一覧 ……45

例　言

1. 本書は、倉敷埋蔵文化財センターが平成29～30年度にかけて行った埋蔵文化財保護行政の概要についてまとめたものである。
2. 本書の執筆は、浅野光正・小野雅明・藤原好二・内田智美・那須玲子・日下美樹が分担し、調査事業報告についてはそれぞれ文責を記した。全体編集は藤原が行った。
3. 調査事業報告において、調査報告としているものについては本報告をもって正報告とする。
4. 調査地点位置図で使用した地形図は、倉敷市発行の50,000分の1の都市計画図を縮小したものであり、その他の位置図には、倉敷市発行の都市計画図を複製または縮小したものを使用した。
5. 本書に関する実測図・写真・遺物等は、全て倉敷埋蔵文化財センターで保管している。

平成29（2017）年度

Ⅰ 組　織

埋蔵文化財センターは、文化財保護課の一施設として、市域内の埋蔵文化財に係る業務を一括して担当している。平成29年度における埋蔵文化財センターの組織及び人員は下記のとおりとなっている。

倉敷市教育委員会 ― 生涯学習部 ― 文化財保護課 ― **埋蔵文化財センター**

文化財保護課	課　長	鍵谷 守秀
埋蔵文化財センター	館　長	中原 誠二
〃	主　幹	小野 雅明
〃	主　任	藤原 好二
〃	嘱託員	内田 智美
〃	〃	那須 玲子
〃	〃	日下 美樹

（職名等は平成30年3月31日現在）

Ⅱ 事業の概要

1　調査事業

(1) 事前協議　Fax等による埋蔵文化財包蔵地照会は502件と前年度比で約15％の増であった。平地にある水田等の宅地転用が進んでおり、この傾向は今後も続くものと考えられる。また、開発行為指導要綱に基づく事前協議は7件、墓地経営許可に関する事前協議は7件であった。このうち上東遺跡と浜町遺跡に係る3件について文化財保護法に基づく届出が提出された。

(2) 発掘調査　平成29年度は確認調査9件、立会調査を延べ35件実施した。確認調査については、上東遺跡周辺における宅地造成工事等に伴う案件が6件と際立って多く、今後の遺跡保存が懸念される状況である。亀山遺跡では中世の遺構が確認されたが、その密度はそれほど高くないようであった。溝落遺跡の調査では縄文時代の包含層が確認された。立会調査は、公共事業に伴うものが19件、民間の開発に伴うものが16件である。

(3) 整理作業　来年度以降の報告書刊行に向けて、これまでに調査した新熊野山遺跡および磯の森貝塚から出土した遺物の整理・実測作業を実施した。

2 教育普及事業

(1) 主催講座等　春の遺跡見学会など、延べ23回の講座等を実施。延べ参加人数3,835人。

講座・イベント名	実施日	内　容	参加人数
春の遺跡見学会㉒	5/14（日）	瀬戸内市の遺跡を訪ねる	41人
光る粘土のはにわ作り	7/23（日）	蛍光粘土を用いたはにわ作り	16人
古代の勾玉を作ろう	7/26（水）	高麗石を用いた勾玉作り	20人
縄文のかご作り	7/30（日）	クラフトテープを用いたかご作り	5人
古代の土笛を作ろう	8/2（水）	はにわ粘土を用いた土笛作り	22人
ミニチュアの土器づくり	8/6（日）	オリジナルの縄文土器作り	9人
古代模様のうちわ作り	8/9（水）	土器の拓本を利用したうちわ作り	6人
らでんのバッジ作り	8/13（日）	螺鈿細工によるバッジ作り	12人
ライフパークの集い	8/20（日）	ミニチュア土器等の発掘体験	2,574人
ガラスでとんぼ玉を作ろう（午前）	8/23（水）	ガラスを用いたとんぼ玉作り	12人
ガラスでとんぼ玉を作ろう（午後）	8/23（水）	〃	15人
アンギン編みのコースター作り	10/5（木）	古代の編み方によるコースター作り	10人
らでん細工の朱肉ケース	10/12（木）	螺鈿細工による朱肉ケース作り	16人
石のペンダント作り	10/19（木）	高麗石を用いたペンダント作り	12人
秋の考古学講座 「いにしえの技を学ぶ」	10/29（日）	古代の玉と玉作り	18人
〃	11/5（日）	古代の糸作り	15人
〃	11/19（日）	古代吉備の鍛冶	16人
こどもまつり	2/11（日）	とんぼ玉のストラップ作り	947人
とんぼ玉のアクセサリー	2/15（木）	ガラスを用いたとんぼ玉作り	7人
勾玉の首飾り	2/22（木）	高麗石を用いた勾玉の首飾り作り	6人
大人のランプシェード	3/1（木）	紙細工によるランプシェード作り	11人
山城探訪（午前）	3/7（水）	備中南山城を掘る	20人
山城探訪（午後）	3/7（水）	〃	25人

(2) 出前講座等講師派遣　古代の土笛作り等、延べ22回の派遣。延べ参加人数510人。

派遣内容	開催日	依頼団体	参加人数
博物館学実習	5/17（水）	倉敷芸術科学大学	52人
楯築遺跡案内	5/19（金）	（有）かたらんね	14人
古代模様のしおり作り	6/9（金）	ふれあい教室（水島）	9人

派遣内容	開催日	依頼団体	参加人数
古代模様のしおり作り	7/12（水）	ふれあい教室（玉島）	8人
古代の土笛作り	7/20（木）	大高小学校支援ボランティア	32人
〃	7/25（火）	倉敷夢クラブ（倉敷西小学校内）	20人
〃	7/29（土）	二日市子ども会	34人
〃	8/3（木）	水島会館（浦田分館）	26人
未来と過去へのタイムスリップ①・②	8/4（金）	市民学習センター	50人
古代の土笛作り	8/8（火）	二子杉の子クラブ	13人
〃	8/10（木）	水島会館	31人
〃	8/24（木）	かわべっこ児童クラブ	34人
楯築遺跡について	9/8（金）	庄公民館	30人
古代の土笛作り	9/26（火）	ふれあい教室（水島）	6人
みずしまの古代史	10/24（火）	（公財）水島地域環境再生財団	23人
楯築遺跡案内	10/31（火）	明治大学博物館友の会	17人
古代の土笛作り	11/7（火）	ふれあい教室（玉島）	7人
古代玉島の遺跡とくらし	11/8（水）	玉島西公民館	22人
水島で古墳?!	11/11（土）	（公財）水島地域環境再生財団	9人
古代玉島の遺跡とくらし	11/29（水）	玉島西公民館	22人
博物館見学実習	12/2（土）	くらしき作陽大学	9人
ひさしやま学習	12/5（火）	倉敷市立庄小学校	42人

(3) 報告書等の刊行

倉敷埋蔵文化財センター年報16
Ａ４判　本文53頁　500部　平成30年3月刊行

(4) 資料の貸出

貸出期間	資料名	貸出先	使用目的
4/15（土）～ 2018/4/14（土）	狐塚省蔵氏寄贈考古資料 岡山市千足古墳 埴輪片　他　495点	鹿児島国際大学	胎土分析資料として サンプリングするため
9/12（火）～ 11/15（水）	矢部堀越遺跡出土 特殊器台形埴輪　1点 矢部出土竜形土製品　1点	吉野ヶ里公園 管理センター	平成29年度特別企画展 「よみがえる邪馬台国」 にて展示

(5) 写真等の掲載許可

許可日	資料名・数量	許可先	掲載物
5/25（木）	矢部出土竜形土製品 写真　1点	岡山市教育委員会	平成29年度企画展「発掘調査が語る弥生時代」展示パネルに使用
12/12(火)	磯の森貝塚 貝層断面写真　1点	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター	設立30周年第4回特別展示「瀬戸内海が育んだ交流の記憶」にて使用
12/21(木)	船倉貝塚2・3号土壙墓 写真　1点	国立歴史民俗博物館	総合展示第1展示室の グラフィックパネルに使用

3 利用者数

展示・講座等を含めた平成29年度の利用者数は下表のとおりである。総利用者数は15,236人で、昨年度比約13%の増となり、一昨年度と同じ水準にもどったと言える。

《平成29年度月別利用者数》

月	大人	子ども	講座等	計	開館日数	1日平均利用者数
4	368	397		765	26	29
5	376	431	55	862	27	32
6	341	688		1,029	26	40
7	420	475	153	1,048	26	40
8	818	1,024	2,809	4,651	27	172
9	287	343	34	664	26	26
10	281	642	96	1,019	26	39
11	367	455	91	913	26	35
12	195	231	51	477	23	21
1	225	212		437	23	19
2	431	351	960	1,742	24	73
3	774	799	56	1,629	27	60
合計	4,883人	6,048人	4,305人	15,236人	307日	50人

Ⅲ 教育普及事業報告

1　春の遺跡見学会㉒

～瀬戸内市の遺跡を訪ねる～

日　時　平成29年5月14日（日）
講　師　小野雅明（倉敷埋蔵文化財センター）
対　象　一般
参加者　41人

今回の春の遺跡見学会では、瀬戸内市の遺跡をめぐり、当地域の歴史文化を学んだ。はじめに、弥生時代前期に始まる貝塚として知られる門田貝塚を訪れた。門田貝塚では、多量の貝殻が堆積する溝などの生活跡が発掘調査され、史跡公園として整備されている。溝は、実際に出土したハイガイなどを用いて生々しく復元されており、当時の生活を伺うことができる。また、弥生時代後期の竪穴住居も復元され、遺跡が長期に渡って存続したことが理解できた。次に、寒風陶芸会館を訪れ、スタッフの方に展示資料の解説をしていただいた後、窯跡群を散策した。昼食後は、築山古墳に向かい、発達した前方部をもつ墳丘を観察した。後円部には阿蘇凝灰岩製の家形石棺が露出しており、九州からの運搬ルートを想像した。古墳に近接する須恵古代館を見学した後は白鳳時代に創建された服部廃寺と古墳時代前期の前方後円墳である花光寺山古墳を訪れた。当地域の弥生時代から古代の著名な遺跡を１日かけてめぐり、充実したコースであったと改めて感じた。

2　夏休み体験講座

～縄文のかご作り～

日　時　平成29年7月30日（日）
講　師　内田智美（倉敷埋蔵文化財センター）
対　象　小学5・6年生
参加者　5人

青森県三内丸山遺跡から出土したかごをモデルに、手芸用の紙バンドを使って網代編みのかごを作った。この網代編みの模様をきれいに演出させるためには、バンドを差し込む位置を間違えないように気を付けなければならない。センターでは間違えないようにと、横に差し込むバンドをすべて輪にし、上段へと積み上げながら編んでいく方法で作った。受講生によってはそれでも間違えるがことがあったが、最後まで根気よく頑張って編み、できあがった作品を見て笑顔になっていた。

3　考古学体験講座
～勾玉の首飾り～

日　時　平成30年2月22日（木）
講　師　日下美樹（倉敷埋蔵文化財センター）
対　象　一般
参加者　6人

弥生時代の勾玉をモデルに、柔らかく加工のしやすい滑石を使って勾玉を作り、首飾りに仕上げる講座。滑石を勾玉形に削る作業や、普段から使い慣れていない錐を使って孔をあける作業では、思うようにできず苦労している受講生もいた。紙やすりで磨きをかけることで、徐々に艶が出てくるとうれしそうな表情も見られた。勾玉の孔に紐を通し、長さが調節可能な結び方を用いて首飾りを完成させると、首にかけて仕上がりを確かめ合っていた。

4　考古学体験講座
～大人のランプシェード～

日　時　平成30年3月1日（木）
講　師　那須玲子（倉敷埋蔵文化財センター）
対　象　一般
参加者　11人

長方形の黒画用紙に古代模様の紙をテープで固定し、カッターナイフを使って模様を切り抜いていく。切り抜きがすんだ画用紙の裏に、スプレー糊で画用紙より小さめのトレーシングペーパーを丸めながら貼り付け、仕上げに上下にキャップを取り付けた。参加者は不慣れなカッターナイフを使った作業に苦労していたが、完成した作品を暗所で点灯すると、浮かび上がった模様に歓声を上げていた。

5　山城探訪
～備中南山城を掘る～

日　時　平成30年3月7日（水）
講　師　弘田和司・米田克彦（岡山県古代吉備文化財センター）
対　象　一般
参加者　午前：20人　午後：25人

高梁川と小田川の合流点付替事業に伴って岡山県古代吉備文化財センターが発掘調査中の備中南山城跡を探訪した。全面調査中の山城跡を見学できる機会は少ないこともあり、応募者が多数となったため、午前と午後の2回の開催となった。樹木が伐採された山城跡は眺望が良い上、築城当時の様子や畝状竪堀群、堀切などの攻め手を阻む技巧的な城の作りを明瞭に見てとれると、参加者には好評であった。しかし、発掘調査が終わると城跡全体が削られてしまうことを聞いて、「残念」と惜しむ声もあった。

Ⅳ 調査事業報告

平成29年度調査一覧表

No.	遺跡名	該当地	調査原因	区 別	調査期間	調査結果
1	塩生遺跡	児島塩生	公園設備改修工事	立　会	17.04.14	遺物・遺構なし
2	阿津走出遺跡	児島阿津	水道管埋設工事	〃	17.06.06	〃
3	原津遺跡	西坂	個人住宅建築工事	〃	17.06.08 17.06.13	〃
4	桜の堤	玉島阿賀崎	下水道管埋設工事	〃	17.06.09	〃
5	畑山城跡	玉島柏島	下水道管埋設工事	〃	17.06.13	〃
6	鷲羽山遺跡	下津井田之浦	駐車場整備工事	〃	17.07.07	〃
7	釜屋ノ上遺跡	玉島柏島	道路改良工事	〃	17.07.14	〃
8	新熊野山遺跡	林	公園整備工事	〃	17.07.19	〃
9	大室遺跡	下津井五丁目	個人住宅建築工事	〃	17.07.19	〃
10	上東遺跡	上東	個人住宅建築工事	〃	17.07.28	〃
11	阿津走出遺跡	児島阿津	水道管埋設工事	〃	17.08.16	〃
12	山の花遺跡	藤戸町天城	個人住宅建築工事	〃	17.08.24	〃
13	上東遺跡	上東	水道管埋設工事	〃	17.08.30	中世土器細片
14	亀山遺跡	玉島八島	個人住宅建築工事	確　認	17.09.20	ピット・亀山焼片
15	亀山遺跡	玉島八島	個人住宅建築工事	立　会	17.10.04	遺物・遺構なし
16	坂根遺跡	真備町尾崎	水道管埋設工事	〃	17.10.04	〃
17	上東遺跡	上東	下水道管埋設工事	〃	17.10.06	〃
18	上東遺跡	上東	宅地造成工事	確　認	17.10.11	弥生・中世土器細片
19	上東遺跡 ・庄城跡	上東	宅地造成工事	〃	17.10.12 ～ 17.10.14	遺物・遺構なし
20	上東遺跡 ・庄城跡	上東	宅地造成工事	〃	17.10.14	〃

No.	遺跡名	該当地	調査原因	区 別	調査期間	調査結果
21	上東遺跡	上東	公園整備工事	立　会	17.10.14	遺物・遺構なし
22	石田遺跡	真備町尾崎	排水溝補修工事	〃	17.11.07	〃
23	上東遺跡	上東	集合住宅建設工事	確　認	17.11.09	ピット・弥生土器片
24	戸地衛遺跡	真備町箭田	水路改修工事	立　会	17.11.15	遺物・遺構なし
25	上東遺跡	上東	集合住宅建築工事	〃	17.11.15・21・24	ピット・弥生土器片
26	矢砂遺跡	真備町箭田	水路改修工事	〃	17.12.01 18.01.05	遺物・遺構なし
27	金浜上遺跡	児島塩生	道路改良工事	〃	17.12.02	〃
28	児島インターチェンジ遺跡	児島阿津	個人住宅建築工事	〃	17.12.02	〃
29	亀山遺跡	玉島八島	水道管埋設工事	〃	17.12.08	〃
30	児島インターチェンジ遺跡	児島阿津	個人住宅建築工事	〃	17.12.21	〃
31	上東遺跡	上東	個人住宅建築工事	〃	17.12.26	〃
32	上東遺跡	上東	下水道管埋設工事	〃	18.01.08	〃
33	矢砂遺跡	真備町箭田	水道管埋設工事	〃	18.01.23	〃
34	上東遺跡	上東	個人住宅建築工事	確　認	18.01.30	〃
35	上東遺跡	上東	宅地造成工事	〃	18.01.30 ～ 18.01.31	弥生土器片
36	才楽遺跡	日畑	宅地造成工事	〃	18.02.06	遺物・遺構なし
37	溝落遺跡	児島塩生	資材置き場造成工事	〃	18.02.07	縄文土器・石器
38	鷲羽山遺跡	大畠	電柱アース埋設工事	立　会	18.02.14	遺物・遺構なし
39	上東遺跡	上東	個人住宅建築工事	〃	18.03.01	〃
40	竪場島南岸遺跡	児島唐琴町	浄化槽埋設工事	〃	18.03.29	〃

調査地点位置図（S=1/100,000）

亀山（かめやま）遺跡確認調査報告（一覧表 No.14）

調査位置　玉島八島字森木2987番3
調査原因　個人住宅建築工事　　**調査面積**　8㎡
調査期間　17.09.20　　**調査担当**　小野・藤原

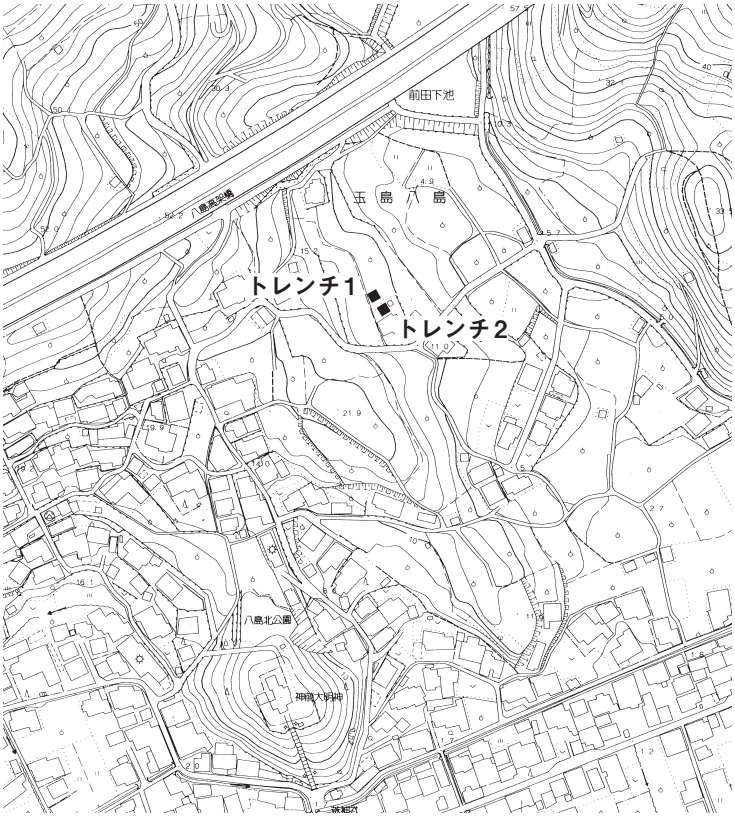
調査地の概要　倉敷市玉島八島の丘陵南斜面には、亀山神前神社窯跡群、亀山窯跡群、亀山遺跡といった中世の遺跡が拠点的に存在する。亀山窯跡群については、1983年から1985年にかけて岡山県教育委員会が実施した山陽自動車道建設に伴う発掘調査により窯跡の実態が明らかとなった。亀山遺跡は、亀山窯跡群を範囲に含み、貝塚を伴う集落跡や墓跡を包括する遺跡として周知されている。近世の干拓以前の当地域は、現在の平野部に内海が広がる環境下にあり、海上交通の要所として重要な役割を担っていたと考えられる。特に、亀山焼の生産が盛んであった頃には、製品の積み出し港として機能した良港の存在が想定される。

調査の概要　調査地は、JR新倉敷駅の北西1.2㎞に位置する標高12m前後の丘陵地で、東に下る傾斜地を造成した宅地である。周辺一帯は桃の産地として知られており、畑として開墾されている。確認調査では、開発予定区域に2×2mのトレンチを2か所設定して実施した。

トレンチ1では、表土の直下で地山土による整地層がみられ、その下は土師器、亀山焼の小片を含む褐灰色土、続いて橙色土の地山となっている。地山の上面は東に向かって緩やかに傾斜しており、トレンチの断面にて、この層を掘り込む土壙が1基確認された。検出面での直径は50㎝、深さは20㎝程度である。埋土の褐灰色土から亀山焼の小片が出土しており、中世の遺構と考えられる。

トレンチ2では、耕作土の直下で地山を削り出した土壌による整地がみられ、その下から果樹園を整備した際の盛土が現れた。盛土の下は地山となっており、この場所における本来の地形は、東に向かって急勾配で下る斜面である。トレンチ2では中世の遺構、遺物包含層は認められなかった。

以上のように、調査地の北端においては緩斜面となっており、地表下約60㎝の高さで中世の遺構と考えられる小さな土壙1基が検出されたことから、何らかの活動があったことが推測できる。一方、それより10m南の地点では、東に向かって急激に落ち込む地形となっていることが明らかとなり、土地利用が困難な状況であったと考えられる。　（小野）



トレンチ位置図（S=1/5,000）

上東（じょうとう）遺跡確認調査報告（一覧表 No.23）

調査位置　上東字才ノ後765番1
調査原因　集合住宅建設工事　　**調査面積**　8㎡
調査期間　17.11.09　　**調査担当**　小野・藤原

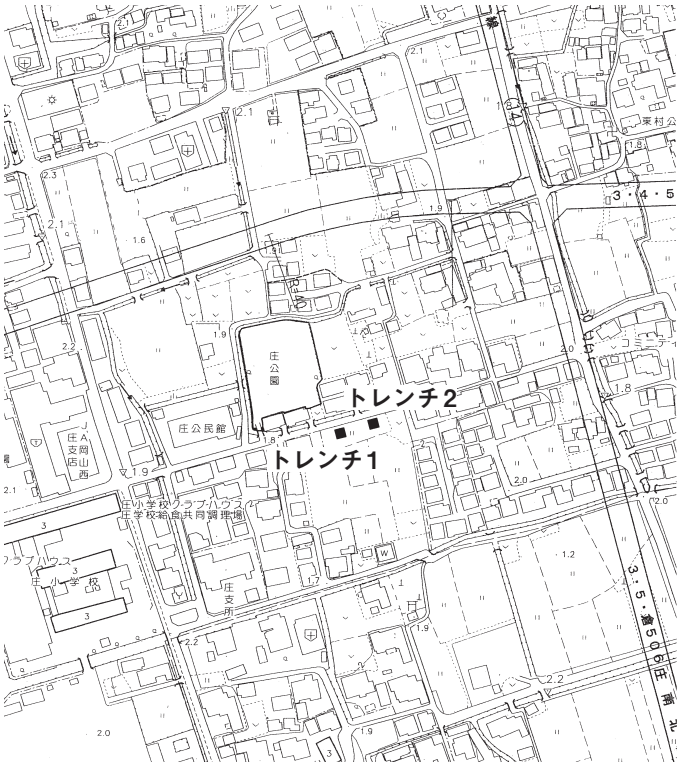
遺跡の概要　上東遺跡は、足守川河口域に形成された沖積平野に立地する集落遺跡である。弥生時代後期を中心とし、中世までの遺構、遺物が確認されている。調査対象地は倉敷市役所庄支所の北東約100ｍに位置する水田で、まわりは住宅地となっている。周辺地区の調査歴については、南接する住宅地の造成工事に伴う確認調査を2007年に実施している。この調査区では遺跡の基盤層が確認され、弥生時代後期の土壙等が検出された。

調査の概要　開発予定区域に2×2ｍのトレンチを2か所設定して調査を実施した。地表面の標高は1.3～1.4ｍである。

トレンチ1では、水田耕作土の直下から灰黄褐色粘質土の基盤層が現れ、ピット3基が検出された。いずれも埋土は褐灰色粘質土で、弥生土器小片を含んでいる。ピット1は長径35㎝、短径30㎝。ピット2は長径50㎝、短径40㎝。ピット3は長径60㎝、短径50㎝程度である。これらは弥生時代の遺構と考えられる。

トレンチ2では、水田耕作土を掘り下げると基盤層である灰黄褐色粘質土があらわれ、土壙2基が検出された。土壙1はトレンチの東端でその一部が検出された。遺構の平面形、規模は不明であるが、検出面からの深さは約45㎝を測る。垂直に近い角度で灰黄褐色粘質土を掘り抜き、底はその下の堆積層である灰黄色砂質土層の上面に達していた。埋土上層の黒褐色土に弥生土器が比較的多く含まれ、その下の褐灰色土にも弥生土器小片が少量含まれる。底近くの埋土は黄灰色粘質土に褐灰色粘質土がブロック状に混じる層で、弥生土器の小片がわずかに含まれる。弥生時代後期の遺構と考えられる。土壙2はトレンチ南壁において一部分が検出された。遺構の平面形、規模等は不明である。埋土は、上層から褐灰色粘質土、黄灰色粘質土の薄い層、灰色粘質土の順となっており、いずれの層にも中世土器、弥生土器が含まれている。中世の遺構と考えられる。

以上のように、今回の調査地では弥生時代後期と中世の遺構が検出され、微高地がこの部分まで延びていることが明らかとなった。現状での基盤層上面の標高は1.1ｍくらいである。（小野）



トレンチ位置図（S=1/5,000）

溝落（みぞおち）遺跡確認調査報告（一覧表 No.37）

調査位置　児島塩生字金浜3072番1
調査原因　資材置場等建設工事　**調査面積**　8㎡
調査期間　18.02.07　**調査担当**　小野・藤原

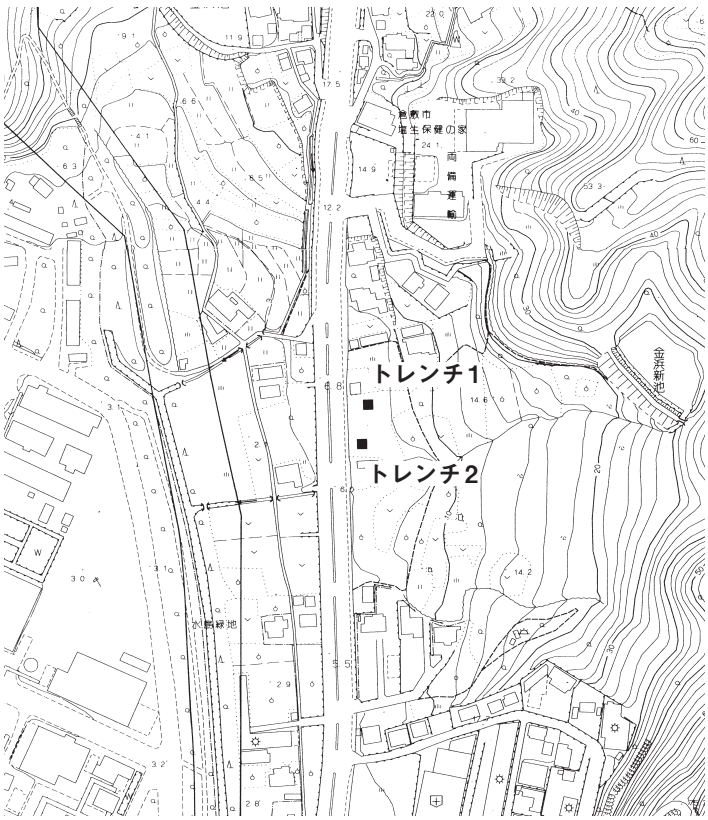
遺跡の概要　溝落遺跡は縄文時代から中世にかけての散布地として周知される。倉敷市の水島地区から国道430号線を南下し、児島塩生に入ってまもなく傾斜が緩やかになる字金浜に位置する。この地域は旧児島の西岸部にあたり、かつての海浜には古墳時代の製塩遺跡として知られる金浜遺跡が存在する。溝落遺跡は水島灘を眼下に望む丘陵裾部の小さな谷にできた扇状地に立地する。遺跡の調査歴については、2006年に倉敷市臨港消防署建設に伴う発掘調査を倉敷市教育委員会が実施している。発掘調査では、縄文時代早期から後期の土器、石器類、玦状耳飾などの遺物が出土した。特に石器類には、石鏃、スクレイパー、石匙、石錐などの他、サヌカイトの板状剥片や流紋岩の剥片も多くみられ、石器素材の流通を考えるうえで注目される。

調査の概要　開発予定地は標高7～8mの西向きの斜面で、南北41m、東西20mくらいの長方形に近い形状である。この区域に2×2mのトレンチを2か所設定して調査を実施した。

トレンチ1では、表土を除去すると、にぶい黄褐色土が堆積しており、その直下には縄文土器、サヌカイト片を含むにぶい黄褐色土が検出された。この層は縄文時代の包含層と認識され、上面の高さは地表下70～80㎝程度、厚さは20～30㎝である。出土した土器は縄文時代中期末が主体であるが、小片で摩滅が進んでおり、もとの位置を保ったものとは思われない。2006年に実施した発掘調査でも縄文時代の遺構は検出されず、出土遺物は付近から流出した二次堆積層の中に含まれると判断された。にぶい黄褐色土の下には黄灰色土がみられるが、遺物は含まれておらず、遺構は認められない。

開発予定地の南寄りに設定したトレンチ2では、表土の下には、造成土や撹乱を受けた層がみられ、この層から須恵器、土師器の小片がわずかに出土した。その下には褐灰色土、にぶい黄褐色土の堆積土がみられるが、これらの層から遺物は出土せず、この地点では縄文時代の包含層は認められなかった。

以上のように、今回の確認調査では調査対象地の南端を除いたほとんどの部分において縄文時代の包含層が分布していることが明らかになった。（小野）



トレンチ位置図（S=1/5,000）

Ⅴ 寄贈図書一覧（2017.4.1～2018.3.31）

岩手県	
岩手大学平泉文化研究センター	岩手大学平泉文化研究センター年報 第5集
宮城県	
多賀城市埋蔵文化財調査センター	多賀城市内の遺跡1、多賀城市埋蔵文化財調査センター年報 - 平成27年度 -、高崎遺跡ほか、多賀城市内の遺跡2
山形県	
酒田市教育委員会	亀ヶ崎城跡発掘調査報告書、亀ヶ崎城跡分布調査報告書（1）
東北芸術工科大学芸術学部歴史遺産学科	歴史遺産研究 No.10/2015、歴史遺産研究 第11号
茨城県	
土浦市立博物館	土浦市立博物館紀要第27号
筑波大学歴史・人類学専攻	筑波大学 先史学・考古学研究第28号
栃木県	
（公財）とちぎ未来づくり財団	栃木県埋蔵文化財センターだより2017 9月、栃木県埋蔵文化財センターだより2018 2月、板戸愛宕塚古墳群、遺跡の発掘と活用の記録、研究紀要第25号
栃木県教育委員会	刈沼遺跡･刈沼向原遺跡、板戸愛宕塚古墳群、粟宮宮内遺跡、堀米城跡･堀米遺跡、栃木県埋蔵文化財保護行政年報39
小山市教育委員会	国史跡 琵琶塚古墳発掘調査概報Ⅰ、国史跡 琵琶塚古墳発掘調査概報Ⅱ、小山添遺跡Ⅲ、牧ノ内Ⅲ、日光道西遺跡Ⅴ
群馬県	
みどり市教育委員会	岩宿遺跡Ｆ地点、西鹿田中島遺跡発掘調査報告書（2）
埼玉県	
吉見町埋蔵文化財センター	町内遺跡11、西吉見条理遺跡Ⅲ
富士見市教育委員会	市内遺跡発掘調査Ⅵ、市内遺跡発掘調査Ⅹ、宿（多門氏館跡）遺跡第6地点発掘調査報告書
越谷市教育委員会	越ヶ谷御殿跡発掘調査報告書Ⅰ
千葉県	
千葉市埋蔵文化財調査センター	埋蔵文化財調査（市内遺跡）報告書 - 平成28年度 -、埋蔵文化財調査（市内遺跡）報告書 - 平成26年度 -、大北遺跡、埋蔵文化財調査センター年報26
（公財）千葉市教育振興財団	千葉市古山遺跡（第3次）、千葉市台畑古墳群、大有角石器展
千葉市教育委員会	史跡加曽利貝塚 総括報告書、埋蔵文化財調査（市内遺跡）報告書 - 平成29年度 -
国立歴史民俗博物館	国立歴史民俗博物館研究報告 第188集・第202集・第205～208集、国立歴史民俗博物館 要覧 平成29（2017）年度
東京都	
宮内庁書陵部	書陵部紀要第68号、書陵部紀要第68号（陵墓篇）
早稲田大学考古学会	古代第140号
国学院大学文学部考古学研究室	穂高古墳群2014年度発掘調査報告書、赤平（1）遺跡2013年度発掘調査報告書、居家以岩陰遺跡2014年度発掘調査報告書
青山学院大学文学部史学科研究室	青山史学 第三十五号
石川県	
能登町教育委員会	名勝旧松波城庭園保存整備基本計画書
福井県	
福井市文化財保護センター	福井城跡ⅩⅦ、福井城跡ⅩⅧ、寄安・栗森遺跡Ⅱ
山梨県	
笛吹市教育委員会	椚田遺跡、下新兵衛屋敷遺跡、身洗沢遺跡
長野県	
長野市埋蔵文化財センター	浅川扇状地遺跡群 中越遺跡、浅川扇状地遺跡群 徳間中南遺跡 徳間番場遺跡、浅川扇状地遺跡群 桐原牧野遺跡、善光寺門前町跡（4）、浅川扇状地遺跡群 桐原牧野遺跡（2）・桐原要害（高野氏館跡）

(一財) 長野県文化振興事業団	信州の遺跡第11号・第12号、龍源寺跡
長野県立歴史館	長野県立歴史館たより vol.91～vol.93、進化する縄文土器
静岡県	
静岡県埋蔵文化財センター	ふじのくに考古通信 Vol.13・Vol.14
静岡市立登呂博物館	静岡市立登呂博物館館報 第23号 - 平成28年度 -
愛知県	
新城市教育委員会	新城城跡発掘調査報告書Ⅴ
名古屋市見晴台考古資料館	名古屋市見晴台考古資料館年報33
豊田市郷土資料館	豊田市郷土資料館だより No.98～No.100、勧学院文護寺跡、鷹見城跡・宮口元屋敷遺跡・鳳面館跡・竹元町1号塚、寺部遺跡Ⅶ、平成27年度市内遺跡発掘調査事業概要報告書
名古屋大学考古学研究室	名古屋大学文学部研究論集188、東山72号窯発掘調査報告書
南山大学人類学博物館	南山大学人類学博物館紀要第36号
三重県	
鈴鹿市考古博物館	鈴鹿市考古博物館年報第18号、宮ノ前遺跡 (第3次) 発掘調査報告書、史跡伊勢国分寺跡 - 遺構編 -、伊勢国府跡19
滋賀県	
守山市立埋蔵文化財センター	下之郷遺跡発掘調査報告書 - 総括編 -、伊勢遺跡発掘調査報告書Ⅸ、平成27年度国庫補助対象遺跡発掘調査報告書、下之郷遺跡関連発掘調査報告書Ⅱ、下之郷遺跡関連発掘調査報告書Ⅲ、下之郷遺跡確認調査報告書ＸⅠ
東近江市埋蔵文化財センター	東近江市埋蔵文化財調査報告書第30集、東近江市埋蔵文化財調査報告書第31集、能登川地区の中世城館、伊庭御殿遺跡と朝鮮人街道、布引掩体群、宮井廃寺と辻岡山瓦窯跡、箕作山東麓の遺跡、史跡雪野山古墳保存活用計画報告書
(公財) 滋賀県文化財保護協会	おうみ文化財通信 Vol.31～Vol.34、紀要 第30号
(公財) 栗東市体育協会	蜂屋遺跡発掘調査報告書 平成28年度2次調査、蜂屋遺跡発掘調査報告書 平成28年度3次調査、蜂屋遺跡 平成29年度1次調査、下鈎東・手原遺跡 平成22年度1次調査、下鈎東・手原遺跡 平成23年度1次調査、滑石の玉、栗東市埋蔵文化財調査報告 2015 (平成27) 年年報、はっくつ2016- 栗東市話題の発掘調査 -
滋賀県教育委員会	土位遺跡、金森西遺跡、法蔵禅寺遺跡 椿谷遺跡、大津廃寺跡、野尻遺跡、生津城遺跡、滋賀県内遺跡発掘調査報告書
大津市教育委員会	穴太遺跡 (下飴屋地区) 発掘調査報告書、真野廃寺発掘調査報告書Ⅲ、南滋賀遺跡 (砂子田地区) 発掘調査報告書、穴太野添古墳群発掘調査報告書、南滋賀遺跡 (豆田地区) 発掘調査報告書、埋蔵文化財発掘調査集報7、青江遺跡発掘調査報告書、南滋賀遺跡 (下浮田地区) 発掘調査報告書、大津市埋蔵文化財調査年報 - 平成28 (2016) 年度 -、名勝及び史跡善法院庭園保存活用計画書
米原市教育委員会	佐加太第45号
野洲市教育委員会	平成28年度野洲市埋蔵文化財調査概要報告書、平成28年度野洲市文化財調査概要報告書、平成29年度野洲市内遺跡発掘調査年報
高島市教育委員会	高島市内遺跡調査報告書 - 平成28年度 -、弘川末次遺跡、下花貝遺跡
竜王町教育委員会	竜王町内遺跡発掘調査概要報告書 平成26，27年度
滋賀県立安土城考古博物館	おおてみち第99号～第101号
滋賀県立大学人間文化学部	人間文化43号
京都府	
(公財) 京都府埋蔵文化財調査研究センター	京都府埋蔵文化財情報第131号・第132号
(公財) 向日市埋蔵文化財センター	史跡 乙訓古墳群 元稲荷古墳、年報 都城29
京都府教育庁	京都府埋蔵文化財調査報告書 (平成28年度)
京都市文化芸術都市推進室	京都市内遺跡発掘調査報告 平成28年度、京都市内遺跡試掘調査報告 平成28年度、京都市内遺跡詳細分布調査報告 平成28年度
宇治田原町教育委員会	禅定寺城跡 (付 . 粽谷古墳) 発掘調査報告書
南丹市立文化博物館	学校のあゆみ 美山地区編、麻田浩展～小さな絵の世界～、南丹市立文化博物館

	だより第13号
（公財）京都市埋蔵文化財研究所	法住寺殿跡・六波羅政庁跡・方広寺跡、伏見城跡、洛史 研究紀要 第11号、平安京左京三条三坊十三町跡・烏丸御池遺跡、御土居跡、円勝寺跡・成勝寺跡・白河街区跡・岡崎遺跡、平安宮豊楽院跡・鳳瑞遺跡、白河街区跡・吉田上大路町遺跡、平安京右京九条一坊九町跡･唐橋遺跡、植物園北遺跡、平安宮大炊寮跡･二条城北遺跡、平安京右京八条三坊七町跡、平安京左京五条二坊十一町跡・烏丸綾小路遺跡、史跡妙心寺境内･平安京跡、上久世遺跡･上久世城跡、北野廃寺･北野遺跡、史跡 教王護国寺境内・平安京跡
京都橘大学	京都橘大学大学院研究論集 第15号、ゴーランド・コレクション総合研究の新知見に基づく日本古墳時代像・研究史の再構築、京都橘大学 歴史遺産調査報告2016
大阪府	
高槻市立埋蔵文化財調査センター	嶋上遺跡群41
泉南市埋蔵文化財センター	男神社歴史的建造物調査報告書、泉南市遺跡群発掘調査報告書ＸＸＸⅣ
堺市教育委員会	平成28年度国庫補助事業発掘調査報告書、陶邑窯跡群高蔵寺地区第83号窯跡（TK83）発掘調査概要報告 - 南区宮山台1丁、和田東所在 -、太井遺跡（TAI-9）発掘調査概要報告 - 美原区太井所在 -、検証！河内政権論 なぜ、百舌鳥に大王陵が築かれたのか
（公財）枚方市文化財研究調査会	枚方市文化財年報38 2016年度
（公財）八尾市文化財調査研究会	植松遺跡 西郡遺跡 八尾南遺跡 矢作遺跡、成法寺遺跡 太子堂遺跡、跡部遺跡 恩智遺跡 田井中・木の本遺跡、平成28年度（公財）八尾市文化財調査研究会事業報告
豊中市教育委員会	豊中市埋蔵文化財発掘調査概要 - 平成29年度（2017年度）-、本町遺跡第43次発掘調査報告書
枚方市教育委員会	枚方市埋蔵文化財発掘調査概要2016
羽曳野市教育委員会	古市遺跡群ＸＸＸⅧ、羽曳野市内遺跡調査報告書 - 平成24年度 -、羽曳野市内遺跡調査報告書 - 平成26年度 -
富田林市教育委員会	中野北遺跡、平成28年度 富田林市内遺跡群発掘調査報告書
泉佐野市教育委員会	平成28年度泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要
交野市教育委員会	平成28年度交野市埋蔵文化財発掘調査概要
池田市教育委員会	池田市埋蔵文化財発掘調査概報 2015年度・2016年度
吹田市教育委員会	平成28（2016）年度 埋蔵文化財緊急発掘調査概報、弘誓寺太鼓楼建築調査報告書
四條畷市教育委員会	四條畷市文化財調査年報第4号
大阪府立近つ飛鳥博物館	博物館だより - アスカディア・古墳の森 vol.45～ vol.47、館報20、東国尾張とヤマト政権、古墳出現期の筑紫・吉備・畿内
吹田市立博物館	博物館だより No.69～ No.72、館報17
大阪府立狭山池博物館	蓮華の花咲く風景
大阪歴史博物館	年報 平成28年度、なにわ歴博カレンダー No.64
大阪大谷大学	歴史文化研究第17号、志学台考古第17号
兵庫県	
姫路市埋蔵文化財センター	豆田遺跡 - 荒川小学校プール移転工事に伴う発掘調査報告書 -、家島諸島の考古学、豆田遺跡発掘調査報告書、姫路城城下町跡 - 姫路城跡第366次発掘調査報告書 -、姫路城城下町跡 - 姫路城跡第338次発掘調査報告書 -、丁・柳ヶ瀬遺跡発掘調査報告書、姫路城城下町跡 - 姫路城跡第343次発掘調査報告書 -、姫路城城下町跡 - 姫路城跡第349次発掘調査報告書 -、姫路城城下町跡 - 姫路城跡第351次発掘調査報告書 -、播磨国分寺跡発掘調査報告書、姫路城城下町跡 - 姫路城跡第353次発掘調査報告書 -、姫路城城下町跡 - 姫路城跡第354次発掘調査報告書 -、姫路城城下町跡 - 姫路城跡第356次発掘調査報告書 -、豆田遺跡発掘調査報告書、丁・柳ヶ瀬遺跡発掘調査報告書

たつの市埋蔵文化財センター	古代のマツリと新宮宮内遺跡
神戸市教育委員会	発掘！古代のお役所、昭和のくらし 昔のくらし11、こうべ発掘ニュース 最新号、発見！遺跡のどうぶつたち、神戸の古墳Ⅱ、平成26年度 神戸市埋蔵文化財年報、兵庫津遺跡第62次発掘調査報告書
伊丹市教育委員会	有岡城跡発掘調査報告書ＸＸＩ
芦屋市教育委員会	平成26年度芦屋市内遺跡発掘調査報告書、平成8年度国庫補助事業（4）芦屋市内遺跡発掘調査概要報告書、八十塚古墳群岩ヶ平支群第61号墳出土双龍環頭大刀調査・分析報告書、山芦屋古墳発掘調査概要報告書
加西市教育委員会	玉丘古墳Ⅱ
赤穂市教育委員会	有年考古 第4号、有年地区埋蔵文化財詳細分布調査報告書
尼崎市教育委員会	尼崎市埋蔵文化財調査年報 平成22年度、尼崎市内遺跡 発掘調査等
姫路市立城郭研究室	城郭研究室年報 vol.26
加古川市教育委員会	史跡西条古墳群～保存整備事業の概要～、人塚古墳、史跡西条古墳群保存整備事業報告書
加東市教育委員会	加東市文化財年報 -2015年度 -
川西市教育委員会	平成27年度川西市発掘調査報告
佐用町教育委員会	平成26年度埋蔵文化財調査年報、利神城跡等調査報告書、平成27年度埋蔵文化財調査年報
多可町教育委員会	山口遺跡、多哥寺遺跡Ⅳ
兵庫県立考古博物館	兵庫県立考古博物館ＮＥＷＳ vol.21・vol.20、大門畑瀬遺跡・大伏北山遺跡、勝浦鉱山跡、飯田遺跡、兵庫県古代官道関連遺跡調査報告書Ⅲ、猪渕谷坑道群間歩ヶ谷支群他、タルガ山遺跡・対田清水谷古墳群・小坂谷古墳群・浅谷下山古墳群、姫路城城下町跡、山田大山古墳群、広根遺跡
（公財）兵庫県まちづくり技術センター	ひょうごの遺跡第96号・第97号
播磨町郷土資料館	館報28
大手前大学史学研究所	大手前大学史学研究所紀要 第11号、関西窯業の近代Ⅰ
奈良県	
桜井市立埋蔵文化財センター	50㎝下の桜井、桜井の歴史を作った七人の人々、平成27年度国庫補助による発掘調査報告書、桜井市内埋蔵文化財2005年度発掘調査報告書1、桜井市内埋蔵文化財2000年度発掘調査報告書2
奈良文化財研究所	遺跡情報交換標準の研究 第4版、埋蔵文化財ニュース No.166～No.169
橿原市教育委員会	藤原京跡Ⅵ - 右京三条四坊 -、新堂遺跡、新堂遺跡Ⅱ、平成28年度橿原市文化財調査年報、藤原京跡Ⅴ - 右京十一条三坊、右京十一条三・四坊 -、平成27年度橿原市文化財調査年報
宇陀市教育委員会	宇陀松山城跡第13次発掘調査報告書、片岡家文書から見た地域の寺社、宇陀市内遺跡発掘調査概要報告書 2015年度、古文書の宝庫 片岡家文書の世界、宇陀市内遺跡発掘調査概要報告書 2014年度
田原本町教育委員会	唐子・鍵遺跡考古資料目録Ⅱ - 土器編2（弥生・搬入・特殊）-、弥生遺産Ⅴ 唐古・鍵遺跡 初期調査の遺物～補遺～
斑鳩町教育委員会	「樋口隆康展 - 戦後の日本考古学の歩みとともに -」、斑鳩文化財センター年報第6号（平成27年度）、藤ノ木古墳の武器・武具展 - 武装から藤ノ木古墳を考える -、史跡三井瓦窯跡発掘調査報告書
明日香村教育委員会	続 明日香村史 上～中巻
奈良県立橿原考古学研究所附属博物館	新作発見！弥生絵画 - 人・動物・風景 -
帝塚山大学考古学研究所	瓦の来た道～東アジアの瓦の歴史～、帝塚山大学考古学研究所研究報告ＸⅨ
桜井市纒向学研究センター	纒向考古学通信 Vol.9～Vol.11、纒向学研究第5号、纒向学研究センター年報第4号（平成27年度）、纒向学研究センター年報 第5号（平成28年度）
奈良大学文学部文化財学科	斑鳩大塚古墳発掘調査報告書Ⅲ、文化財学報 第三十五集
天理大学附属天理参考館	天理参考館報第30号
天理大学考古学・民俗学研究室	古事 第21冊

和歌山県	
(公財)和歌山県文化財センター	公開シンポジウム『中世熊野の港湾遺跡 新宮津を考える』、公益財団法人和歌山県文化財センター年報2016、吉原遺跡、中飯降遺跡、寺内古墳群、相方遺跡、根香寺遺跡、山口古墳群、平井遺跡、平井Ⅱ遺跡、地宝のひびき - 和歌山県内文化財調査報告会資料集 -、すさみ町 立野遺跡
有田川町教育委員会	平成28年度有田川町埋蔵文化財調査年報
鳥取県	
鳥取県埋蔵文化財センター	会下・郡家遺跡、調査研究紀要8、調査研究紀要9、青谷上寺地遺跡14
(公財)鳥取市文化財団	里仁墳墓群、重山墳墓群、倉見古墳群 - 倉見15･28･31号墳の調査 -、乙亥正城跡･乙亥正小川谷遺跡、鍋山城跡・鍋山古墳群、日光長谷遺跡
倉吉市教育委員会	倉吉市内遺跡分布調査報告書19、小鴨道祖神遺跡発掘調査報告書、中尾遺跡第2次発掘調査報告書、坂根平遺跡発掘調査報告書、ドウ々平遺跡発掘調査報告書、平畑ヶ遺跡第2次発掘調査報告書、東伯耆の古代
米子市教育委員会	史跡米子城跡 保存活用計画書、米子市内遺跡発掘調査報告書、史跡 向山古墳群、史跡 上淀廃寺跡
鳥取県教育委員会	松原田中遺跡Ⅲ、金沢坂津口遺跡、下坂本清合遺跡Ⅱ、大桝遺跡Ⅲ、大桝遺跡Ⅳ、松原田中遺跡Ⅱ、高住牛輪谷遺跡Ⅱ
(一財)米子市文化財団	坂長越城ノ原遺跡・越敷山古墳群（坂長地区)、金廻家ノ上ノ内遺跡・金廻家ノ上遺跡・越敷山古墳群（金廻地区)、埋蔵文化財調査室年報4、米子市埋蔵文化財センター・米子市福市考古資料館年報第6号
大山町教育委員会	町内遺跡発掘調査報告書Ⅸ
岩美町教育委員会	牧谷日野宮古墳発掘調査報告書、岩本1号墳周辺試掘調査報告書、新井塚谷遺跡発掘調査報告書
琴浦町教育委員会	鳥取県東伯郡琴浦町町内遺跡発掘調査報告書、別所22号墳発掘調査報告書、鳥取県東伯郡琴浦町町内遺跡発掘調査報告書
鳥取県立公文書館	新鳥取県史 考古Ⅰ 旧石器・縄文・弥生時代、新鳥取県史 考古3 飛鳥・奈良時代以降
(公財)鳥取県教育文化財団	山ノ下遺跡・平ノ前遺跡
島根県	
島根県埋蔵文化財調査センター	玉泉寺遺跡（Ⅵ区・Ⅶ区)・九景川遺跡（Ⅴ区)、麓Ⅱ遺跡・坂本谷遺跡・京田遺跡(1区)、ドキ土器まいぶん No.62・No.63、のの子谷横穴墓群・京田遺跡3区、浅柄Ⅲ遺跡、鳴滝山鉛鉱山古道・御大師山古道、松江城三之丸跡・松江城下町遺跡（殿町2)・松江城三之丸ノ内跡、古屋敷遺跡（G区)、古屋敷遺跡（B区)、高原遺跡(3区)・中尾H遺跡(4区)・門遺跡(2区)、海石西遺跡・角落し遺跡・廻り田遺跡・近世山陰道跡（馬橋地区)・神出西遺跡、大西大師山遺跡（18・19号横穴墓)・城ヶ谷遺跡(2区)
島根県古代文化センター	古代文化研究 第25号、しまねの古代文化 第24号、古代出雲ゼミナールⅣ、近世・近代の石見焼の研究、意宇平野の集落遺跡、志谷奥遺跡出土青銅器群の研究
(公財)松江市スポーツ振興財団	光泉寺遺跡、柏木遺跡、広垣遺跡、埋蔵文化財課年報〈20〉平成27年度
安来市教育委員会	史跡富田城跡発掘調査報告書 千畳平地区2
浜田市教育委員会	平成28年度 浜田市内遺跡発掘調査報告書
出雲市役所	祇園原Ⅲ遺跡、平成28年度出雲市文化財調査報告書、祇園原Ⅲ遺跡、上塩冶横穴墓群 第40支群
島根県立八雲立つ風土記の丘資料館	八雲立つ風土記の丘 No.220・No.221
島根大学法文学部考古学研究室	浅井11号墳発掘調査概要報告書Ⅰ
島根大学 研究・学術情報機構ミュージアム	島根大学 研究・学術情報機構ミュージアム年報 平成27・28年度
岡山県	
岡山県古代吉備文化財センター	岡山城二の丸跡、高梁川西岸の遺跡、攻略！おかやまの中世城館　第四巻（美作国西部編)、所報吉備第63号・第64号、前田遺跡

津山弥生の里文化財センター	津山城だより No.21、津山弥生の里第24号
岡山市埋蔵文化財センター	上伊福（済生会）遺跡3、岡山市埋蔵文化財センター年報16、清水廃寺瓦窯跡、津島江道遺跡、岡山市埋蔵文化財センター研究紀要第9号、雄町遺跡、南方遺跡
岡山県教育委員会	岡山県埋蔵文化財報告47
備前市教育委員会	備前焼をサイエンスする～科学と歴史の対話～、中世の備前焼を再現する、医王山東麓窯跡群発掘調査報告書Ⅱ、備前市文化財レポート2016【年報】
総社市教育委員会	総社市埋蔵文化財調査年報26（平成27年度）、牛塚古墳群
赤磐市教育委員会	両宮山古墳2
浅口市教育委員会	竹林寺天文台遺跡2
津山郷土博物館	津博 No.90～ No.94、津山松平藩町奉行日記 二十三、津山市史研究 第3号、津山市史だより第7号～第9号、平成28年度津山郷土博物館年報
岡山県立美術館	美術館ニュース第116号～第120号
岡山シティミュージアム	岡山びと　第11号（公財）
岡山大学埋蔵文化財調査研究センター	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報 No.58・No.59
岡山理科大学 自然科学研究所	自然科学研究所研究報告第42号
岡山理科大学 図書館	岡山理科大学紀要 第52号Ａ 、岡山理科大学紀要 第52号Ｂ
倉敷市文書館（アーカイブス）研究会	倉敷の歴史 第27号
岡山県遺跡保護調査団事務局	調査団ニュース 49号・50号
広島県	
（公財）広島県教育事業団	湯伝遺跡、年報14 平成28年度、平成28年度ひろしまの遺跡を語る 幕長戦争と西国街道 記録集、ひろしまの遺跡第117号～第118号、奥山製鉄遺跡
東広島市教育委員会	東ひろしまの遺跡 Vol.4・Vol.5、芸南地域の戦国時代と山城、弥生時代の船と交易品、才免遺跡発掘調査報告書、東広島市内遺跡発掘調査報告書1、妙福寺遺跡発掘調査報告書、横田3号遺跡・市地遺跡発掘調査報告書
三次市教育委員会	鳥井山第1～3号古墳発掘調査報告書、四拾貫小原第16号古墳・下山南遺跡発掘調査報告書
福山市教育委員会	福山市文化財年報45、史跡朝鮮通信使遺跡鞆福禅寺境内第1次発掘調査報告書、史跡朝鮮通信使遺跡鞆福禅寺境内保存活用計画、福山市内遺跡発掘調査概要ＸＩ
庄原市教育委員会	日本誕生の女神、庄原市文化財だより 第5号、佐田谷・佐田峠墳墓群発掘調査報告書 調査編（2）
三原市教育委員会	史跡小早川氏城跡（三原城跡）保存整備事業、史跡小早川氏城跡（三原城跡）
尾道市	尾道市内遺跡、尾道近世遺跡 北前船と港町尾道
広島県立歴史民俗資料館	年報 第33号 - 平成27・28年度 -
広島大学考古学研究室	広島大学大学院文学研究科考古学研究室紀要第9号
広島大学総合博物館	HUM-HUM Vol.9、広島大学埋蔵文化財調査研究紀要 第8号
山口県	
山口県埋蔵文化財センター	山口県埋蔵文化財センター年報 - 平成28年度普及公開事業等の記録 -、中ノ浜遺跡、下津令遺跡4、陶けん第30号
山口県教育委員会	山口県中世城館遺跡総合調査報告書 - 長門国編 -
柳井市教育委員会	南大原遺跡 鳥屋尾遺跡
下関市立考古博物館	研究紀要第21号、遙かなる音の世界
山口大学埋蔵文化財資料館	山口大学構内遺跡調査研究年報 ＸＸ、見島ジーコンボ古墳群 第123号墳・第152号墳（再）・西部域 出土資料調査報告、てらこや埋文2017年春号
徳島県	
（公財）徳島県埋蔵文化財センター	中山路遺跡、徳島県埋蔵文化財センター年報 Vol.28 2016年度、清成遺跡
徳島大学埋蔵文化財調査室	徳島大学埋蔵文化財調査室ニュースレター No.4、常三島遺跡3、国立大学法人徳島大学埋蔵文化財調査室紀要3
香川県	
香川県埋蔵文化財センター	飯野・東二瓦礫遺跡、多肥宮尻遺跡、汲仏遺跡、高松城跡、多肥松林遺跡、香

	川県埋蔵文化財センター年報 平成28年度、丸亀城跡（大手町地区）、埋蔵文化財試掘調査報告ＸＸⅨ、城泉遺跡、平池南遺跡、小僧遺跡、尾の上遺跡 須田・中尾瀬遺跡
香川県教育委員会	香川県文化財年報 平成27年度
高松市教育委員会	相作馬塚古墳Ⅱ、中林遺跡、相作馬塚古墳Ⅱ
善通寺市教育委員会	善通寺市内遺跡発掘調査事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書17
丸亀市教育委員会	中の池遺跡、丸亀市内遺跡発掘調査報告書第15集
さぬき市教育委員会	さぬき市内中世石造物分布調査（寒川町編）
三豊市教育委員会	宗吉かわらの里展示館 年報6、紫雲出山遺跡
香川県政策部	四国八十八ヶ所霊場第七十四番札所 甲山寺調査報告書、四国八十八ヶ所霊場第七十五番札所 善通寺調査報告書
香川県立ミュージアム	香川県立ミュージアムニュース vol.37～vol.40
愛媛県	
（公財）愛媛県埋蔵文化財センター	妙住院屋敷遺跡、伊予の古代、愛比売 平成28年度年報、紀要愛媛 第13号、今若遺跡2
（公財）松山市文化・スポーツ振興財団	船ヶ谷遺跡-5次調査-、松山市埋蔵文化財調査年報29、樽味四反地遺跡 23次調査、束本遺跡5次調査、宮前川流域の遺跡Ⅲ、松山市埋蔵文化財調査年報28、道後湯之町遺跡2次調査
今治市教育委員会	史跡 能島城跡 平成27年度 城内通路（第2次）調査報告書、市内遺跡試掘確認調査報告書（平成27年度 公共事業に伴う調査）、市内遺跡試掘確認調査報告書（平成27年度 個人民間開発に伴う調査）、朝倉下岡遺跡、高橋佐夜ノ谷 Ⅱ遺跡-第3次調査-
松山市教育委員会	姫原遺跡2次調査、大峰ヶ台遺跡13次調査・道後今市遺跡12次調査、筋違Ｍ遺跡・筋違Ｑ遺跡
西予市教育委員会	笠置峠古墳
鬼北町教育委員会	国史跡 等妙寺旧境内発掘調査現地説明会
愛媛大学埋蔵文化財調査室	愛媛大学埋蔵文化財調査室年報-2016年度-
高知県	
（公財）高知県文化財団	東野土居遺跡Ⅳ、高田遺跡Ⅰ・宇賀遺跡、高知県埋蔵文化財センター年報第26号 2016年度
高知県教育委員会	高知県埋蔵文化財年報13、文化財こうち第3号
土佐市教育委員会	井尻村中遺跡
高知市教育委員会	帯屋町遺跡
高知県立歴史民俗資料館	岡豊風日第98号～第100号、高知県立歴史民俗資料館年報 No.26
福岡県	
小郡市埋蔵文化財調査センター	大崎小園遺跡4、横隈上ノ原遺跡3、三国小学校遺跡5、埋蔵文化財調査報告書9、干潟猿山遺跡2
久留米市埋蔵文化財センター	高三瀦遺跡-第5次発掘調査報告-、白川遺跡-第6次発掘調査報告-、碇遺跡-第5次発掘調査報告-、京隈侍屋敷遺跡-第28次発掘調査報告-、久留米城外郭遺跡-第24次発掘調査報告-、三反田遺跡-第1次発掘調査概要報告-、久留米城下町遺跡（原古賀町三丁目）-第25次発掘調査報告-、庄島侍屋敷遺跡-第10次発掘調査報告-、櫛原侍屋敷遺跡-第20次発掘調査報告-、久留米市文化財保護課年報 vol.12、久留米市埋蔵文化財調査集報ＸⅦ、正福寺遺跡 第7次調査「編組製品遺物編」、平成28年度久留米市内遺跡群、筑後国府跡-平成27・28年度発掘調査報告-、久留米藩主有馬家墓所Ⅱ
北九州市教育委員会	高野山遺跡第1・第2地点、津田神社遺跡第2地点、稗田川遺跡第3地点、城野遺跡第2・4地点、石田遺跡第3・4・5地点、屏賀坂遺跡第3地点、馬借遺跡第2地点、北九州市の民俗芸能
大野城市教育委員会	天神田遺跡1、仲島遺跡13、御供田遺跡4、古賀遺跡、上大利小水城跡、原田遺跡1、乙金地区遺跡群16～19、花園遺跡1・仲島本間尺遺跡2、大野城市の文化財第47集、

	御笠の森遺跡7
筑紫野市教育委員会	旧九州鉄道白山三連橋梁、原口遺跡第2次・第3次発掘調査、堀池遺跡第3・5・6次発掘調査
春日市教育委員会	須玖タカウタ遺跡3、西ヶ浦遺跡
豊前市教育委員会	中村ヒバル遺跡
朝倉市教育委員会	黒川院Ⅳ、頓田立野遺跡Ⅱ、嶋原一揆談話、朝倉市文化財年報（平成24年度）
糸島市教育委員会	井原久保園遺跡、篠原東遺跡群Ⅰ、伊都国人と文字
（公財）北九州市芸術文化振興財団	三郎丸遺跡第5地点、三郎丸遺跡第4地点、重住遺跡第5地点、大手町遺跡第14地点、北方遺跡第14次調査、石田・岡屋敷遺跡第3地点、下上津役大塚遺跡、馬借遺跡、守恒遺跡第14地点、安倍山祭祀遺跡、祇園町遺跡第10地点、菅原神社遺跡4、三条の国境石、埋蔵文化財調査室年報33、研究紀要 - 第31号 -、室町遺跡第12地点、下貫遺跡第3次調査、山王遺跡第2地点、山王遺跡第1地点
福岡市経済観光文化局	井尻Ｂ遺跡27、飯倉Ｂ遺跡2、有田・小田部56、原遺跡20、クエゾノ遺跡2、山王遺跡8、下門山遺跡2、住吉神社遺跡2、那珂76、野方平原遺跡2、野多目Ｃ遺跡5、博多157、箱崎49～51、比恵76～78、福岡城下町遺跡1、麦野Ａ遺跡9、弥永原8、藤崎遺跡21・千里遺跡2・千里向川原遺跡1、史跡鴻臚館跡、「国史跡福岡城跡」本丸武具櫓跡発掘調査報告、元岡・桑原遺跡群28、福岡市埋蔵文化財年報 VOL.30、福岡市埋蔵文化財センター年報第35号、収蔵資料目録第2集 博多遺跡群
大刀洗町教育委員会	高樋辻遺跡2・3、高樋辻遺跡4（墳墓編）、高樋辻遺跡5（第5次調査甕棺墓編）、高樋辻遺跡5（第5次 土壙墓･木棺墓･土坑編）、高樋辻遺跡6･7、高樋辻遺跡（総括・考察編）
遠賀町教育委員会	鳥見山遺跡群
北九州市立自然史・歴史博物館	北九州市立自然史・歴史博物館研究報告Ｂ類歴史第14号
九州歴史資料館	九歴だより No.45・No.46、九州歴史資料館研究論集42
海の道むなかた館	「神宿る島」、むなかた電子博物館紀要第7号、海の道むなかた展示図録、海の道むなかた館年報Ⅳ
福岡大学人文学部考古学研究室	大牟田古墳群 中島窯跡群 測量調査概報、新・日韓交渉の考古学 - 弥生時代 -
佐賀県	
佐賀市教育委員会	上和泉遺跡10区 第2分冊、蛎久遺跡 -3区の調査 -、南宿遺跡 野々中遺跡 下和泉一本楠遺跡、佐賀市埋蔵文化財確認調査報告書 -2014年度 -、松原遺跡 -5区の調査 -、佐賀城史料集、縄文の奇跡！東名遺跡 - 有明海に沈んだまぼろしの縄文文化 -、下印鑰遺跡 -1区の調査 -
唐津市教育委員会	唐津市内遺跡確認調査（33）、国史跡 唐津松浦墳墓群
神埼市教育委員会	市内遺跡確認調査概要報告書Ⅸ、市内遺跡確認調査概要報告書Ⅹ、神埼宿遺跡Ⅱ
佐賀大学	古墳時代～奈良時代の西日本集落遺跡における倉庫遺構に関する研究
（一財）吉野ヶ里公園管理センター	邪馬台国と謎の国「不弥国」、テクノポリス国家「奴国」、邪馬台国の外港拠点「伊都国」、倭人、海峡を渡る、邪馬台国と筑紫の宝庫 朝倉、平成29年度 よみがえる邪馬台国フォーラムレジュメ、平成28年度 よみがえる邪馬台国フォーラムレジュメ、カイトとリュウさんの遺跡へ行こう その7
長崎県	
雲仙市教育委員会	栗山遺跡・下栗山遺跡、雲仙市の埋蔵文化財について～新指定文化財～、十園遺跡Ⅲ・伊古遺跡Ⅳ
熊本県	
熊本市観光文化交流局	熊本市埋蔵文化財調査年報第19号、平成6～10年度 植木町内遺跡発掘調査報告集、古閑天神平遺跡、国指定史跡 池辺寺跡 保存整備工事報告集、熊本市埋蔵文化財発掘調査報告集 - 平成28年度 - 第2分冊、熊本市埋蔵文化財発掘調査報告集 - 平成28年度 - 第1分冊、今宿遺跡、諏訪原遺跡、大江遺跡群13
大分県	
杵築市教育委員会	水の願い 神への祈り～御塔山古墳とその時代～、『木付城・藩主御殿、そして

	城下町「杵築」のはじまり』、国指定史跡 小熊山古墳・御塔山古墳、東西交流の窓 小熊山古墳・御塔山古墳 - 九州と瀬戸内海をつなぐ両古墳 -
宇佐市教育委員会	市内遺跡発掘調査概報25
宮崎県	
宮崎県埋蔵文化財センター	潮遺跡・山之後遺跡、宮崎県埋蔵文化財センター通信ひむか第20号・第21号、橘通東1丁目遺跡、高樋遺跡、白山原遺跡（第2次調査）、都城市内遺跡10、国指定史跡 大島畠田遺跡、庄内西脇遺跡、南御屋鋪跡、白山原遺跡（第3次調査）
鹿児島県	
鹿児島県立埋蔵文化財センター	埋文だより第73号～第75号
（公財）鹿児島県文化振興財団	平成29年度 要覧、～かごしまの遺跡～ 第13号～第15号
霧島市教育委員会	桑幡氏館跡3 弥勒院跡3 大隅国府跡2 沢氏館跡3
鹿児島大学埋蔵文化財調査センター	脇田亀ヶ原遺跡 桜ヶ丘団地 E-8・9区
その他	
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会	『水中遺跡保護の在り方について』（報告）、『埋蔵文化財保護行政におけるデジタル技術の導入について2』（報告）、倭の周辺域における墳墓の諸相、平成28年熊本地震による古墳の被災状況について、公立埋文協会報第59号・第60号、設立30周年・会報60号のあゆみ
（株）イビソク	山科本願寺跡・左義長町遺跡、平安京右京六条四坊八町跡・西京極遺跡、平安京左京五条三坊七町跡・烏丸綾小路遺跡、河原口坊中遺跡 第7次調査
西近畿文化財調査研究所	伏見城跡・桃陵遺跡、一ノ井遺跡、嵯峨遺跡・嵯峨北堀町遺跡、雲林院跡、平安京右京四条三坊十四町跡・山ノ内遺跡
国際文化財株式会社	平安京左京八条一坊一町跡・御土居跡埋蔵文化財発掘調査報告書、平城京左京八条二坊十五町跡、平安京右京一条四坊十三町跡埋蔵文化財発掘調査報告書、平安京右京一条二坊四町跡
JFE21世紀財団	たたら - 日本古来の製鉄
山本 均	備中国旧水内村 山本城と城主一族

平成30（2018）年度

Ⅰ 組　織

埋蔵文化財センターは、文化財保護課の一施設として、市域内の埋蔵文化財に係る業務を一括して担当している。平成30年度における埋蔵文化財センターの組織及び人員は下記のとおりとなっている。

倉敷市教育委員会 ― 生涯学習部 ― 文化財保護課 ― **埋蔵文化財センター**

文化財保護課	課　長	鍵谷 守秀
埋蔵文化財センター	館　長	中原 誠二
〃	主　幹	小野 雅明
〃	主　任	藤原 好二
〃	嘱託員	内田 智美
〃	〃	那須 玲子
〃	〃	日下 美樹

（職名等は平成31年3月31日現在）

Ⅱ 事業の概要

1　調査事業

(1) 事前協議　Fax等による埋蔵文化財包蔵地照会は631件と前年度比で約25％の大幅増となった。近年続く水田等の宅地転用に加え、7月豪雨災害の影響で真備町域の包蔵地照会が増加したことによるものである。開発行為指導要綱に基づく事前協議の件数は5件、墓地経営許可に関する事前協議は7件であった。このうち上東遺跡の範囲内に係る4件について文化財保護法に基づく届出が提出された。

(2) 発掘調査　平成30年度は範囲確認調査1件、確認調査11件、立会調査51件を実施した。将来的な保存・活用を目指して実施した中津貝塚の範囲確認調査では、縄文時代の貝層と土壙墓1基が確認された。確認調査では昨年に引き続き上東遺跡が7件を占め、弥生時代および中世に属すると考えられる土壙やピット等の遺構が検出された。また、浜町遺跡でも中世と考えられる遺構が確認されている。立会調査は、公共工事に伴うものが12件、民間の開発に伴うものが39件である。

(3) 測量調査　真備町尾崎に所在する黒宮大塚弥生墳丘墓（倉敷市指定史跡）について、墳丘形態の確認を主目的とする地上レーザー測量調査を実施した。

(4) 整理作業　範囲確認調査を行った中津貝塚出土の縄文土器・石器等の洗浄・注記を実施した。また、来年度以降の報告書作成に備えて西元浜貝塚から出土した石器の実測を行った。

2 教育普及事業

(1) 主催講座等　春の遺跡見学会など、延べ14回の講座等を実施。延べ参加人数1,306人。

講座・イベント名	実施日	内　容	参加人数
春の遺跡見学会㉓	5/12（土）	真庭市南西部の遺跡を訪ねる	33人
光る粘土のはにわ作り	8/8（水）	蛍光粘土を用いたはにわ作り	18人
ガラスでとんぼ玉を作ろう（午前）	8/10（金）	ガラスを用いたとんぼ玉作り	8人
ガラスでとんぼ玉を作ろう（午後）	〃	〃	8人
あじろ編みの敷物作り	10/11（木）	古代の編み方による敷物作り	9人
ミニチュアの古代鏡作り	10/18（木）	低融点合金を用いたミニチュア鏡作り	9人
紙漉きでハガキ作り	10/25（木）	漉き枠を自作してのハガキ作り	5人
秋の考古学講座 「備前下津井城跡」	10/28（日）	岡山の中世城館を探る	40人
〃	11/4（日）	石垣と瓦から考える下津井城	33人
〃	11/11（日）	下津井城跡見学	35人
こどもまつり	2/10（日）	とんぼ玉ストラップ作り	1,084人
とんぼ玉のアクセサリー	2/14（木）	ガラスを用いたとんぼ玉作り	9人
アンギン編みのコースター作り	2/21（木）	古代の編み方によるコースター作り	6人
古代の土笛作り	2/28（木）	はにわ粘土を用いた土笛作り	9人

(2) 出前講座等講師派遣　古代の土笛作り等、延べ18回の派遣。延べ参加人数740人。

派遣内容	開催日	依頼団体	参加人数
博物館資料保存論	5/16（水）	倉敷芸術科学大学	51人
倉敷の遺跡廻り （箭田大塚古墳・黒宮大塚）	5/23（水）	玉島西公民館	26人
倉敷の遺跡廻り （楯築遺跡・王墓山古墳）	5/30（水）	〃	18人
放課後・児童クラブ合同研修	7/3（火）	生涯学習課	40人
古代の土笛作り	8/7（火）	ベルタウン・おびえ子供会	50人

派遣内容	開催日	依頼団体	参加人数
古代の土笛作り	8/17（金）	わいわいクラブ（玉島小学校内）	25人
〃	8/21（火）	くらしき夢クラブ	10人
〃	10/2（火）	ふれあい教室（水島）	6人
楯築遺跡・王墓山古墳	10/24（水）	倉敷市立庄中学校	136人
楯築遺跡見学	11/2（金）	倉敷市立庄中学校	140人
古代の土笛作り	11/6（火）	ふれあい教室（倉敷）	14人
〃	11/8（木）	ふれあい教室（玉島）	7人
ひさしやま学習	11/13（火）	倉敷市立庄小学校	40人
王墓山ウォーキング	11/24（土）	庄学区愛育委員会	27人
古代模様のしおり作り	12/9（日）	玉島西公民館（冬のわくわく子どもセミナー）	11人
教員歴史講座（楯築遺跡）	12/26（水）	倉敷市立庄小学校	36人
博物館見学実習	1/12（土）	くらしき作陽大学	3人
ふれあいウォーク（王墓の丘）	3/17（日）	庄学区地域活動促進協議会	100人

(3) 発掘調査現地説明会等

開催遺跡	開催日	内　容	参加人数
中津貝塚	1/19（土）	範囲確認調査の地元説明会	29人

(4) 報告書等の刊行

倉敷市埋蔵文化財発掘調査報告第17集
「磯の森貝塚　広江・浜遺跡2　新熊野山遺跡」
A4判　本文62頁　図版18頁　500部　平成31年3月刊行

(5) 資料の貸出

貸出期間	資料名	貸出先	使用目的
5/10（木）～ 7/1（日）	鵜石鼻遺跡出土 備前焼壺　6点 児島田の口薬師下出土 備前焼壺　1点	（公財）倉敷考古館	平成30年度春の企画展 「備前 美の源流展」に展示するため

(6) 写真の掲載許可等

許可日	資料名・数量	許可先	掲載物
6/21（木）	矢部出土竜形土製品　1点	国立歴史民俗博物館	総合展示第1展示室のグラフィックパネル
11/9（金）	日畑出土古銭　1点	（株）第一学習社	高等学校用日本史副教材『最新日本史図表』に掲載
12/18（火）	板谷コレクション展示状況1点	岡山県古代吉備文化財センター	郷土史学習教材『岡山の弥生時代1』に掲載

3 利用者数

展示・講座等を含めた平成30年度の利用者数は下表のとおりである。総利用者数は12,784人で、昨年度と比較して約16％の大幅減となった。これは平成30年7月豪雨による災害対応のための閉館および業務縮小の影響である。

《平成30年度月別利用者数》

月	大人	子ども	講座等	計	開館日数	1日平均利用者数
4	316	511		827	26	32
5	340	371	128	839	26	32
6	343	817		1,160	26	45
7	45	94	40	179	7	26
8	646	779	94	1,519	27	56
9	355	457		812	26	31
10	298	855	190	1,343	26	52
11	288	445	296	1,029	26	40
12	327	270	47	644	23	28
1	194	261	30	485	23	21
2	482	557	1,108	2,147	24	89
3	934	766	100	1,800	27	67
合計	4,568人	6,183人	2,033人	12,784人	287日	45人

Ⅲ 教育普及事業報告

1　春の遺跡見学会㉓

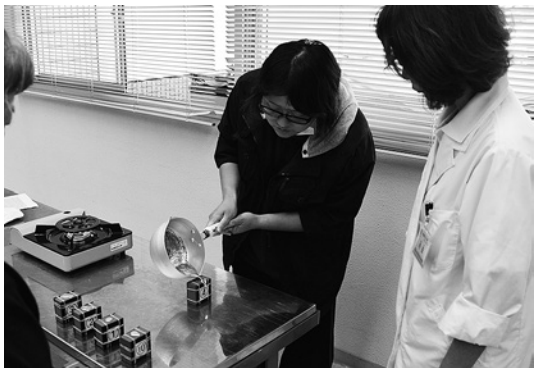
～真庭市南西部の遺跡を訪ねる～

日　時　平成30年5月12日（土）
講　師　小野雅明（倉敷埋蔵文化財センター）
対　象　一般
参加者　33人

真庭市南西部（旧北房町）の遺跡を見学し、当地域独特の古墳文化について学習した。最初に訪れたのは、定東塚・定西塚である。これら２基の方墳は連接して築かれたもので、それぞれの横穴式石室の中に入り、懐中電灯を照らしながら石組みを観察した。次に、北側の尾根を登り、定北古墳に到着した。３列の外護列石がめぐる方墳を観察し、切石を用いた横穴式石室の精緻な造りに見入った。続いて、大谷１号墳に移動し、特異な段状構造をもつ方墳を見学した。復元された古墳は正面だけが五段築成で、三段以下は全周することなく背面で途切れている。省力化と同時に古墳が正面に見える方向を意識したことが読み取れた。午後からは北房ふるさとセンターに立ち寄り、定古墳群、大谷１号墳などから出土した考古資料を見学した。古墳の横穴式石室から出土した陶棺は見事に復元され、部屋の中にずらりと並んだ様子は圧巻であった。その後、古墳時代前半期の立1号・２号墳に移動し、最後に荒木山東塚古墳、荒木山西塚古墳を見学して帰路についた。

2　考古学体験講座

～ミニチュアの古代鏡作り～



日　時　平成30年10月18日（木）
講　師　内田智美（倉敷埋蔵文化財センター）
対　象　一般
参加者　9人

シリコン鋳型を使用してミニチュアの古代鏡を作る講座である。これまでは小学生を対象に実施してきたが､今回は大人を対象とした。低融点合金を卓上カセットコンロで熱し、液体化したものを一人ひとり鋳型に流し込む。少し冷ましてから鏡を取り出し、鏡面を3種類の耐水ペーパーで磨き、最後にコンパウンドと柔らかい布で仕上げるとピカピカの古代鏡が完成。磨いているうちに､「自分の顔が映る」と、童心に返ったように楽しんで完成させていた。

3　秋の考古学講座

～備前下津井城跡～

日　時　平成30年10月28日・11月4日・11日（日）
講　師　第１回　岡本泰典（岡山県古代吉備文化財センター）
　　「岡山の中世城館を探る」
　　第２回　乗岡 実（岡山市教育委員会）
　　「石垣と瓦から考える下津井城」
　　第３回　藤原好二（倉敷埋蔵文化財センター）
　　「下津井城跡見学」
会　場　ライフパーク倉敷「視聴覚ホール」
　　下津井城跡
対　象　一般
参加者　108人（延べ人数）

今回は瀬戸大橋開通30周年及び岡山県史跡指定50周年を記念して「備前下津井城跡」をテーマとする講座を実施した。第1回は近世城郭である下津井城の前史として、岡山県が実施している中世城館調査の成果を岡本泰典氏に解説いただいた。受講生は中世城館が岡山県内に1,400か所以上もあるという話に驚いた様子であった。第2回は発掘調査に基づく下津井城と岡山城等の関係を乗岡実氏にお話いただいた。石垣と瓦が示す築城期間の考察や、本城・支城関係などに聴講者は興味津々であった。第3回は下津井城跡での現地見学を行った。大規模な破城行為によって、建物はおろか石垣が広範囲に破壊されていることを実感できたが、草木が茂って城跡からの眺望が今ひとつなことに見学者から不満の声があがっていた。

4　考古学体験講座

～アンギン編みのコースター作り～

日　時　平成31年2月21日（木）
講　師　日下美樹（倉敷埋蔵文化財センター）
対　象　一般
参加者　6人

縄文時代の編み方を参考に、道具作りから始めて、コースターを編み上げる講座である。道具を持ち帰ることができるので、自宅での製作も可能となる。道具作りはペアで協力しながらの作業で、受講生同士の会話が増え、和やかな雰囲気の中で進められた。最初は編み方に手こずっていたが、理解できると根気よく編みに集中しているようだった。糸の色の組み合わせにより印象の違う作品になり、各自出来映えに満足している様子だった。

Ⅳ 調査事業報告

平成30年度調査一覧表

No.	遺跡名	該当地	調査原因	区 別	調査期間	調査結果
1	上東遺跡	上東	宅地造成工事	立　会	18.04.03	遺物・遺構なし
2	才楽遺跡	日畑	電柱新設工事	〃	18.04.05	〃
3	種松山山頂遺跡	粒江	モニュメント撤去工事ほか	〃	18.04.06	〃
4	上東遺跡・庄城跡	上東	宅地造成工事	〃	18.04.13	〃
5	上東遺跡	上東	宅地造成工事	確　認	18.04.17	溝状遺構
6	浜町遺跡	浜町二丁目	宅地造成工事	〃	18.04.17 ～ 18.04.18	ピット・中世土器片
7	天王山古墳	玉島八島	公園遊具整備工事	立　会	18.04.19 18.04.20 18.05.09	遺物・遺構なし
8	上東遺跡	上東	電柱新設工事	〃	18.04.21	弥生土器小片
9	上東遺跡	上東	電柱新設工事	〃	18.04.23	遺物・遺構なし
10	上東遺跡	上東	宅地造成工事	確　認	18.04.25	土壙・ピット・弥生土器片・中世土器片
11	上東遺跡	上東	宅地造成工事	〃	18.04.26	弥生土器小片
12	大江遺跡	連島町連島	個人住宅建築工事	立　会	18.05.01	遺物・遺構なし
13	前田遺跡	船穂町船穂	携帯電話用無線基地局移設工事	〃	18.05.16	〃
14	島地貝塚	玉島八島	宅地造成工事	確　認	18.05.17	〃
15	白銀山遺跡	玉島上成	配水管埋設工事	立　会	18.05.30	〃
16	浜町遺跡	浜町二丁目	宅地造成工事	〃	18.06.01	〃
17	新熊野山遺跡	林	道路補修工事	〃	18.06.05	〃
18	上東遺跡	上東	宅地造成工事	〃	18.06.14	土壙4基・弥生土器片
19	北面丸山貝塚群第9号	連島町連島	水道管改良工事	〃	18.07.04	遺物・遺構なし
20	羽島貝塚	羽島	公園門扉移設工事	〃	18.07.12	〃
21	上東遺跡	上東	給排水設備改修工事	〃	18.07.20	〃
22	上東遺跡	上東	宅地造成工事	〃	18.07.27	〃
23	上東遺跡	上東	個人住宅建築工事	〃	18.08.01 18.10.10	〃
24	上東遺跡	上東	個人住宅建築工事	〃	18.08.03	〃
25	島地貝塚	玉島八島	宅地造成工事	〃	18.08.10	〃
26	上東遺跡	上東	個人住宅建築工事	確　認	18.08.17	ピット・中世土器片
27	上東遺跡	上東	個人住宅建築工事	立　会	18.08.28	遺物・遺構なし

No.	遺跡名	該当地	調査原因	区 別	調査期間	調査結果
28	日畑廃寺	日畑	個人住宅建築工事	立　会	18.08.28 18.11.06	遺物・遺構なし
29	上東遺跡	上東	ガス管埋設工事	〃	18.08.30	〃
30	上東遺跡	上東	ガス管埋設工事	〃	18.09.05	〃
31	原津遺跡	西坂	個人住宅建築工事	確　認	18.09.11	〃
32	上東遺跡	上東	個人住宅建築工事	立　会	18.09.25	中世土器小片
33	新熊野山遺跡	林	神社案内板設置工事	〃	18.09.26	遺物・遺構なし
34	上東遺跡	上東	電柱新設工事	〃	18.10.17	〃
35	上東遺跡	上東	個人住宅建築工事	〃	18.10.17 18.11.22	〃
36	後貝塚群	玉島長尾	個人住宅建築工事	〃	18.10.23	〃
37	才楽遺跡	日畑	宅地造成工事	〃	18.10.25	〃
38	上東遺跡	上東	宅地造成工事	確　認	18.11.06	弥生土器片
39	浜町遺跡	浜町二丁目	集合住宅建築工事	立　会	18.11.06	遺物・遺構なし
40	上東遺跡	上東	ガス管埋設工事	〃	18.11.08	〃
41	塩生遺跡	児島塩生	警鐘台撤去工事	〃	18.11.13	〃
42	中津貝塚	玉島黒崎	範囲確認調査	範囲確認	18.11.20 ～ 19.02.24	貝層・人骨・縄文土器
43	浜町遺跡	浜町二丁目	個人住宅建築工事	立　会	18.11.20	遺物・遺構なし
44	上東遺跡	上東	電柱機具設置工事	〃	18.11.22	〃
45	上東遺跡	上東	集合住宅建築工事	確　認	19.01.16	ピット・中世土器片
46	上東遺跡 ・平松城跡	下庄	電柱新設工事	立　会	19.01.23	遺物・遺構なし
47	蓮池尻遺跡	真備町妹	農業用倉庫建築工事	〃	19.01.30	〃
48	古宮後遺跡	真備町岡田	個人住宅建築工事	〃	19.01.31 19.03.29	〃
49	矢部遺跡	矢部	個人住宅建築工事	確　認	19.02.01	〃
50	上東遺跡	上東	個人住宅建築工事	立　会	19.02.01	ピット・中世土器片
51	上東遺跡	上東	下水管埋設工事	〃	19.02.07	遺物・遺構なし
52	上東遺跡	上東	宅地造成工事	確　認	19.02.13	土壙・中世土器片
53	上東遺跡	上東	集合住宅建築工事	立　会	19.02.13	遺物・遺構なし
54	矢部遺跡	矢部	個人住宅建築工事	〃	19.02.20	〃
55	黒宮大塚墳丘墓	真備町尾崎	墳丘測量調査	測　量	19.03.05 ～ 19.03.06	測量図作成
56	上東遺跡	上東	個人住宅建築工事	立　会	19.03.14	遺物・遺構なし
57	金浜上遺跡	児島塩生	太陽光パネル設置工事	〃	19.03.15	〃
58	池尻遺跡	児島上の町	樹根撤去工事	〃	19.03.16	〃

調査地点位置図（S=1/100,000）

浜町（はままち）遺跡確認調査報告（一覧表 No.6）

調査位置　浜町2丁目889番1外
調査原因　宅地造成工事　　**調査面積**　12㎡
調査期間　18.04.17～18.04.18　**調査担当**　小野・藤原

遺跡の概要　浜町遺跡は、高梁川東岸の沖積地に立地する中世の散布地である。室町期の史料に記された万寿荘に比定される地域に含まれる。宇喜多堤の名で知られる戦国期の干拓事業で陸地化する前は浜辺であったことが地名からうかがえる。今回の調査地の北側において、2006年に倉敷埋蔵文化財センターが実施した確認調査では、水田床土直下に中世の包含層が確認されている。出土遺物は亀山焼、土師器椀などの細片で、付近の集落から流れ込んだものである。遺構は認められず、室町時代前期の段階では、このあたりにはまだ湿原が残っているような環境であったと推定された。

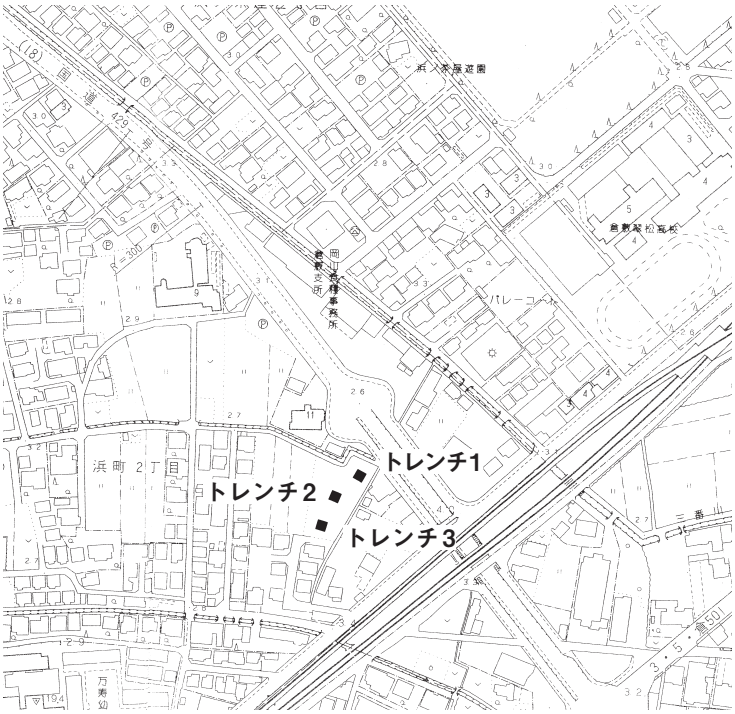
調査の概要　開発予定地は水田を造成した耕作地で、近年まで市民農園として利用されてきた。この区域に2×2mのトレンチを3か所設定して調査を実施した。

トレンチ1では、旧水田床土を除去すると、灰黄褐色粘質土、褐灰色土、灰黄褐色砂質土の順で堆積層がみられた。各層には中世の遺物が含まれており、土師器椀・土鍋、須恵器系陶器、瓦器椀、白磁椀、土錘などが出土した。いずれも小片であるが、摩耗は少ない。褐灰色土層の上面（現地表より80㎝下）でピット3基を検出したため、この面で掘り下げを中止した。ピット2基は杭跡を思わせる形状を呈し、各ピットからは中世土器が出土した。中世の遺構と思われる。

トレンチ2では、旧水田床土の下には、黄灰色土、暗灰黄色土がみられ、暗灰黄色土層から土師器椀・亀山焼、瓦質土鍋などが出土した。その下には遺物を含まない黄褐色土、灰色土、灰色砂質土が続く。黄褐色土層の上面は、北に向かって落ち込むような状況を示しているが、人工的なものの可能性は低いと思われる。

トレンチ3では、旧水田床土の下には、灰黄褐色砂質土が堆積しており、この層から土師器椀・皿・土鍋、須恵器系陶器、瓦質土器などの小片が出土した。明確な遺構は認められなかった。

以上のように、今回の確認調査では調査対象地の全域で中世の遺物が含まれる層が確認され、わずかながら遺構も検出された。出土遺物の中で土師器椀の示す年代は14世紀前後と推定される。当時、この地域には湿地がまだ多く残ってはいるものの、住民が日々の生活の中でしばしば立ち入ることができるような環境であったと推測される。（小野）



トレンチ位置図（S=1/5,000）

上東遺跡確認調査報告（一覧表 No.10）

調査位置　上東字萬茶羅寺698番2外
調査原因　宅地造成工事　　**調査面積**　8㎡
調査期間　18.04.25　　**調査担当**　小野・藤原

遺跡の概要　上東遺跡は、足守川河口域に形成された沖積平野に立地する集落遺跡である。弥生時代後期を中心とし、中世までの遺構、遺物が確認されている。調査対象地は倉敷市役所庄支所の北約200ｍに位置する水田で、まわりは住宅地、公園となっている。周辺地区の調査歴については、北接する住宅地の造成工事に伴う確認調査を2006年に実施している。この調査区では遺跡の基盤層が確認され、弥生時代、中世の包含層が検出された。

調査の概要　開発予定区域に2×2ｍのトレンチを2か所設定して調査を実施した。地表面の標高は1.5～1.6ｍである。

トレンチ1では、耕作土直下にある灰褐色土の上面（地表下約30㎝）でピット3基、土壙1基が検出された。ピット1は検出面での直径60㎝、深さは25㎝である。埋土は褐灰色土で、弥生土器小片を含んでいる。ピット2は検出面での直径32㎝程度である。ピット3は土壙に切られる。不整楕円形で、径60～70㎝程度と推定される。土壙については一部しか検出していないため形状や規模は不明であるが、トレンチ壁面の土層観察によると、埋土は褐灰色土で、中世土器を含んでいる。ピット3基は弥生時代もしくは中世に属する可能性があり、土壙は中世の遺構と考えられる。

トレンチ2では、耕作土直下（地表下約40㎝）でピット2基、土壙1が検出された。ピット1は検出面での直径25㎝、深さは18㎝である。埋土は褐灰色土で、中世土器が含まれる。ピット2は検出面での直径30㎝、深さは15㎝である。埋土は褐灰色土で、中世土器が含まれる。土壙1については一部しか検出していないため形状や規模は不明であるが、トレンチ壁面の断面観察によると、検出面からの深さは約40㎝で、基盤層を掘り込んでいる。埋土は褐灰色や黄色灰色などの粘質土層で、上層を中心に弥生土器が含まれる。また、土壙1を切る土壙2とピット3が確認された。土壙1は弥生時代に属する可能性があり、ピット1、2は中世に属すると思われる。

以上のように、今回の確認調査では現地表面から30～40㎝下で弥生時代と中世の遺構が検出され、この部分まで微高地が延びていることが明らかとなった。現状では、基盤層上面の高さは標高1.2ｍくらいである。（小野）

トレンチ位置図（S=1/5,000）

上東（じょうとう）遺跡確認調査報告（一覧表 No.26）

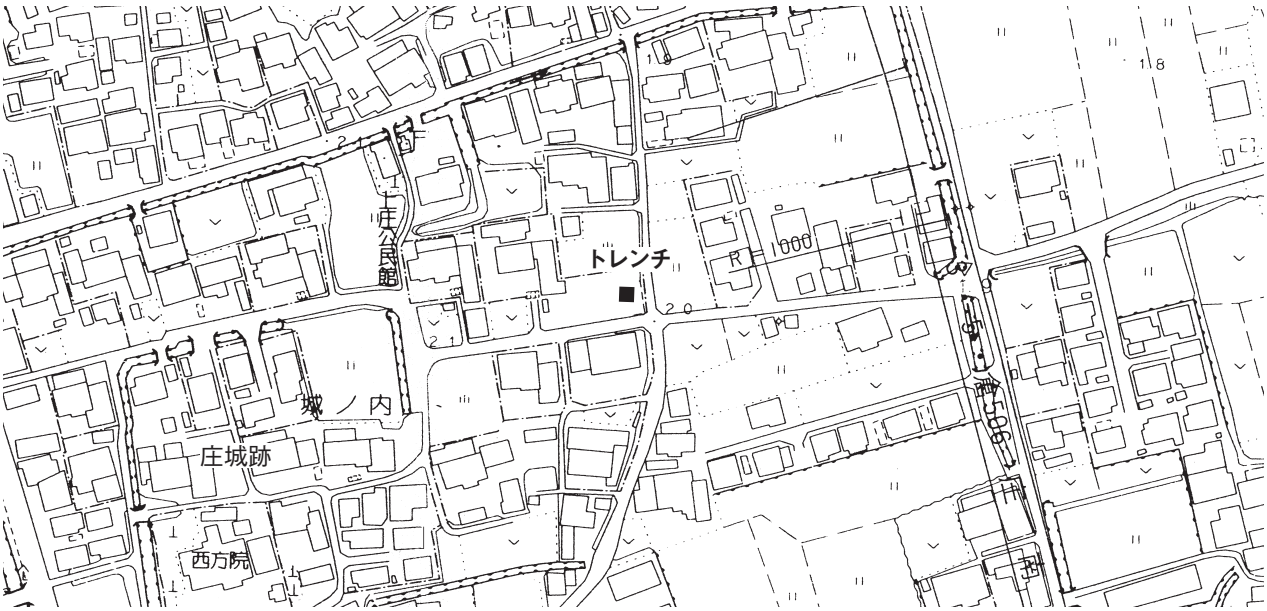
調査位置　上東字南屋敷586番、585番2
調査原因　個人住宅建築工事　　**調査面積**　4㎡
調査期間　18.08.17　　**調査担当**　小野・藤原

遺跡の概要　上東遺跡は倉敷市庄地区に所在する弥生時代後期を中心とする集落跡である。当時、この付近は足守川の河口域にあたり、これまでの岡山県教育委員会等による発掘調査では、数多くの竪穴式住居や井戸等をはじめ、製塩や船着場の跡も検出されている。なお、今回の調査地周辺では、50m程南で2014年度に実施した浄化槽埋設工事に伴う立会調査において、中世のものと推定されるピット等が確認されている。

調査の概要　調査は該当地の東方に2×2mのトレンチ1か所を設定し、土層観察を中心に実施した。調査の結果、宅地造成に伴う造成土の下は、暗緑灰色粘質土、暗青灰色粘質土、灰オリーブ色粘質土の順に堆積していた。造成土以外の各層からは、弥生土器片・中世土器片が検出された。また、灰オリーブ色粘質土層の上面からは土壙1基・ピット3基の遺構が検出された。このうち土壙は計約60㎝の円形で、検出面からの深さは約40㎝、ほぼ垂直に掘り込まれており、中には灰オリーブ色砂が堆積していた。遺物としては弥生土器の細片がわずかに含まれていた。時期は絞り込めないが、周囲の土層に含まれる遺物から、いずれの遺構も中世のものと推定される。

調査地のすぐ西方には「城の内」の小字が示す庄城跡が存在することから、それに関連した遺構である可能性が考えられる。（藤原）

土壙完掘状況（南東から）



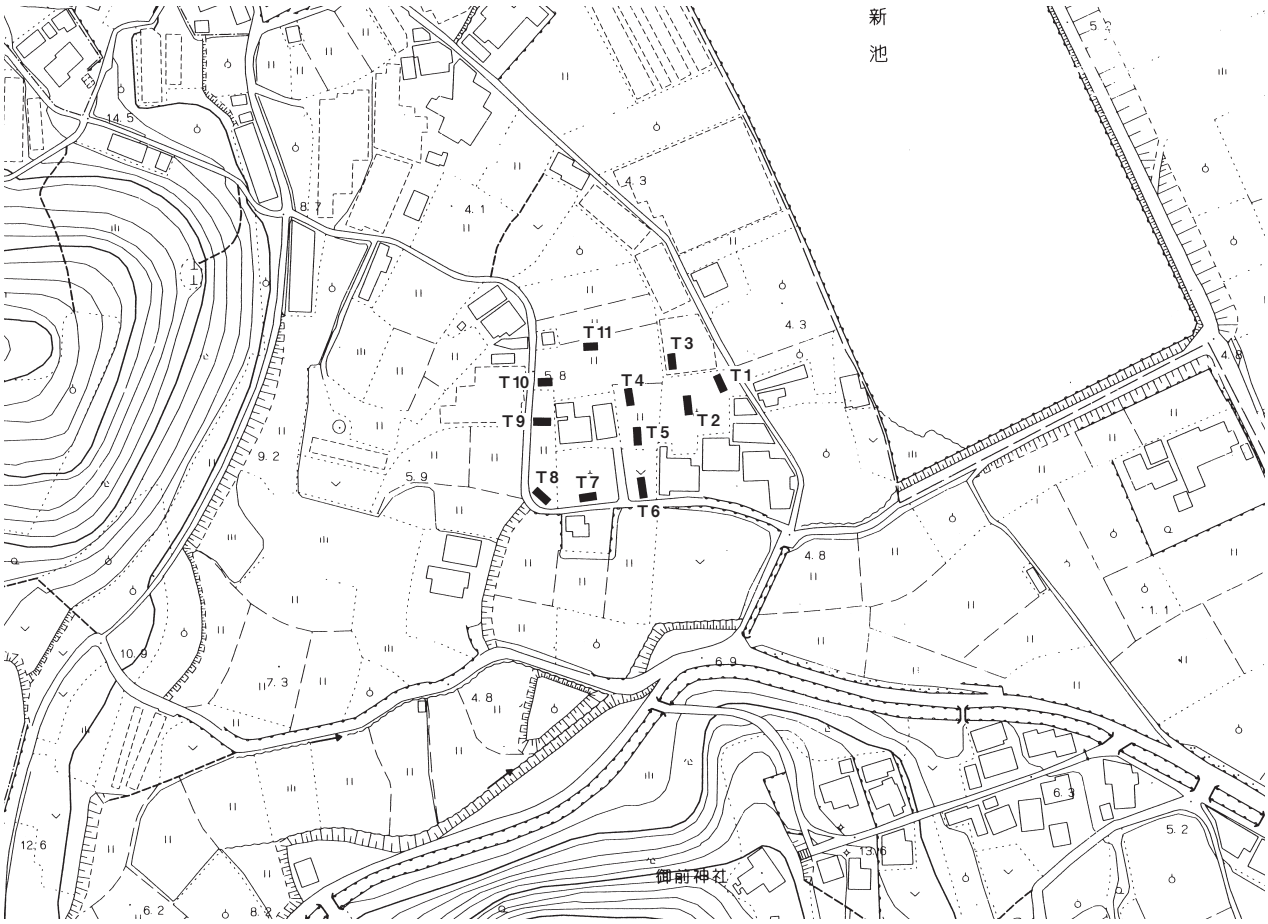
調査区位置図（S=1/2,500）

中津貝塚（なかつ）範囲確認調査概要（一覧表 No.42）

調査位置　玉島黒崎732外
調査原因　範囲確認調査　　**調査面積**　201㎡
調査期間　18.11.20～19.02.24　　**調査担当**　小野・藤原

調査の目的　縄文時代後期「中津式」の標準遺跡である中津貝塚は、入り海に東面する海岸段丘の上に立地する縄文貝塚である。昭和の初め頃に縄文土器の出土により遺跡の存在が知られ、その後、付近から埋葬人骨を伴う土壙墓が偶発的に発見されることがあった。しかし、現在に至るまで貝塚の範囲や遺跡全体の内容が把握されていない。近年、当該地において県道水島港唐船線の改築が計画されたことを契機に、岡山県教育委員会により確認調査が行われ、新池の南西で貝層や遺構が確認された。この成果に引き続き、貝塚の全体的な分布状況を把握するために、平成30年度から3年計画で確認調査を実施することとなった。

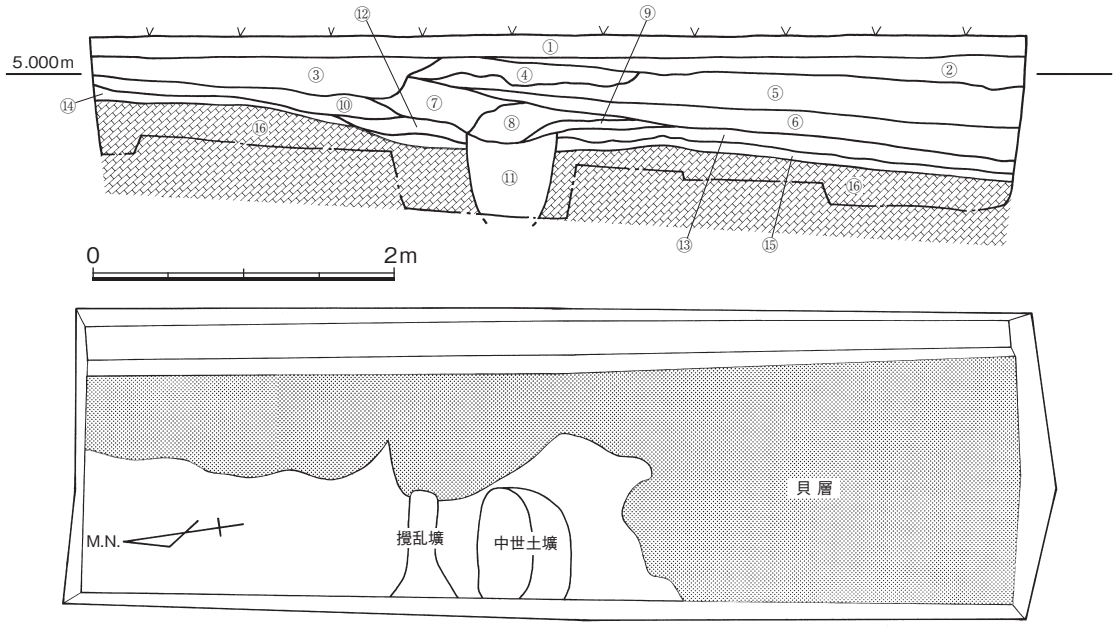
調査の概要　調査地は、東に延びる丘陵端部に形成された標高5～6mの扇状地で、南側には守屋川の流れる深い谷が入る。周辺には民家数軒と畑地・果樹園・水田が存在する。この地区にトレンチを11か所設定して調査を実施した。掘削作業については、表土剥ぎは重機を使用し、それより下部は人力で行った。調査の結果、谷との境にあたる南斜面で縄文時代後期の貝層が確認され、その北側高所で埋葬人骨を伴う土壙墓3基が確認されるなどの成果が得られた。



トレンチ配置図（S=1/4,000）

①縄文貝層の確認

トレンチ6（6.5×2m）において縄文時代後期の貝層を確認した。今回の調査では、トレンチ東壁際で深掘りを行い、その他の部分では貝層検出面で掘り下げを止めた。貝層は黒褐色あるいは褐灰色の粘質土の中に貝殻を含む混土貝層（13層・14層・15層）である。検出面の標高はトレンチ東壁断面で見ると、北端で4.9m、南端で4.4mである。トレンチ6のすぐ南側にある市道の南路肩とその真下にある水田とには2m程の段差があることから、地形的にもこの部分が貝塚の南端と考えられる。貝層直上の包含層（6層～10層）からは中津式より新しい時期の縄文土器や、古墳時代、奈良・平安、中世の遺物が出土しており、後世の破壊が認められる。特に中世の土壙、溝等による損壊は著しく、現状での貝層の厚さは10㎝程度である。貝層に含まれる土器は中津式の一型式だけであり、貝塚はこの期間に形成されたものと考えられる。貝の種類は、ハイガイを主体とし、マガキ、ハマグリ、ウミニナ類（イボウミニナ、フトヘナタリ等）アカニシ、ツメタガイの中間などがみられる。付近に存在した干潟からの産物と思われる。この他の動物遺存体としては魚類の骨も若干出土している。また、貝層直上の包含層（6層～10層）から出土した縄文時代遺物には、縄文土器（中津式、彦崎ＫⅡ式、晩期突帯文等）、サヌカイト製石器（石鏃、スクレイパー等）、流紋岩剥片（青緑色で、当地域で石器石材として使用されるもの）がある。



① 暗灰黄色土（耕作土）
② にぶい黄色土（現代の撹乱）
③ にぶい黄色土
④ 灰黄色土
⑤ 褐灰色土（中世土器）
⑥ 黒褐色粘質土（中世土器）
⑦ 黒褐色粘質土（中世土器）
⑧ 灰黄色粘質土
⑨ 灰褐色土（貝殻少量）
⑩ 褐灰色粘質土
⑪ 黄灰色粘質土（中世土壙埋土）
⑫ 褐灰色土（撹乱層）
⑬ 黒褐色粘質土（混土貝層）
⑭ 黒褐色土（混土貝層）
⑮ 黒褐色土（混土貝層）
⑯ にぶい黄色土（地山）

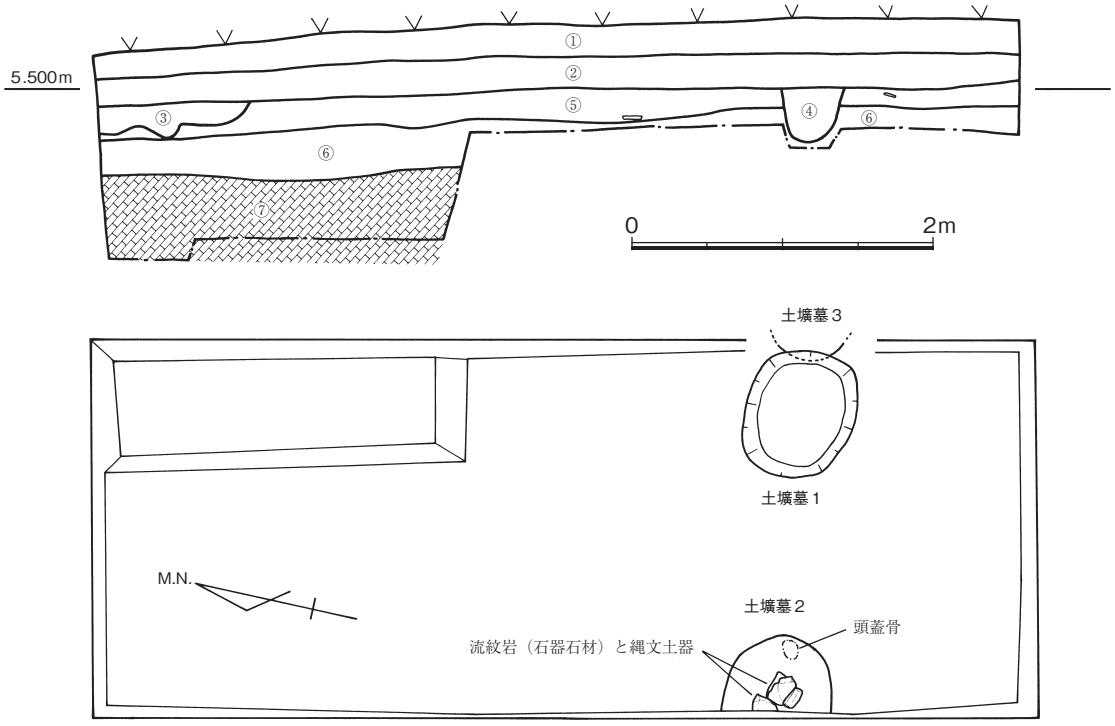
トレンチ６平面・断面図（S=1/50）

②縄文時代土壙墓の確認

トレンチ1（5×2m）において縄文時代の土壙墓3基を検出した。このうち土壙墓1については完掘して調査を行った。土壙墓2については、遺構の東端部を検出して埋葬人骨（頭蓋骨）の上面を確

認するにとどめた。土壙墓3とした遺構は土壙墓1に東接してトレンチ外で検出された。トレンチの東壁に土壙墓1とは別の遺構の断面があらわれたため、上面の輪郭を捉えるべく、トレンチの外側を少し削ったところ、埋土からヒトの臼歯と思われる歯が1点出土した。

土壙墓1は、検出面で東西70㎝、南北60㎝を測る不整円形である。⑤層上面からの深さは約30㎝を測る。埋葬人骨は、付近に貝層が残存しないにもかかわらず比較的保存状態が良い。体の上位を東側に置く傾向は認められるが、全体的としては解剖学的位置を保っておらず、頭蓋骨、肩胛骨、大腿骨、脛骨、腓骨、寛骨等を欠いた不完全なものである。土壙墓東端の底近くで遊離した歯が7点散在していた。土壙墓の埋土は黒褐色土で、粒状の炭が混じる。出土遺物は精製浅鉢の小片、サヌカイト片が少量である。時期は縄文晩期に属すると思われる。



① 褐灰色粗砂（耕作土）
② にぶい黄褐色土（現代遺物）
③ 黄灰色土（現代の撹乱）
④ 黒褐色土（土壙墓３埋土）
⑤ 黒褐色土（縄文時代包含層）
⑥ にぶい黄褐色土
⑦ 灰黄色砂質土と
黄褐色粘質土の互層（地山）

トレンチ１平面・断面図（S=1/50）

③その他各地点の状況

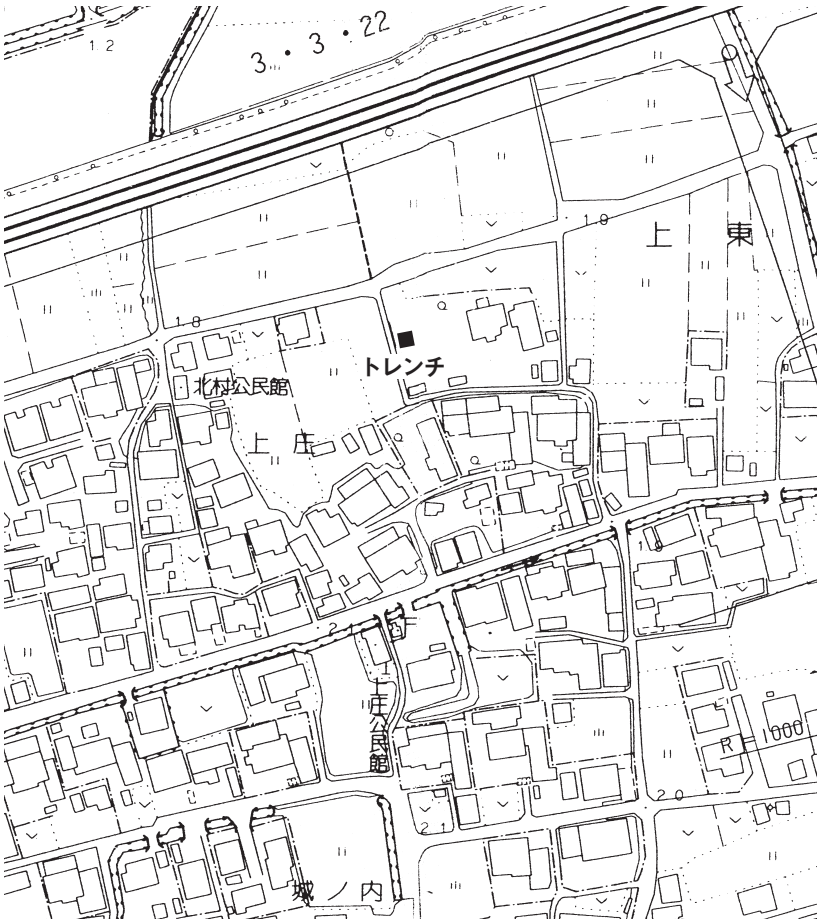
トレンチ1の15ｍ西に設定したトレンチ3では、縄文時代、古墳時代、奈良・平安時代の遺物を含む包含層が確認された。この層は黒褐色粗砂の厚い堆積層で遺物の密度は薄く、トレンチ1の⑤層とは異なっている。縄文時代遺物には早期の押型文土器もある。トレンチ8では、耕作土の下は現代の撹乱層、基盤層（地山）となっており、かつてこの場所に民家があったという情報を得ている。また、トレンチ7、トレンチ9でも撹乱を受けた状況が確認された。トレンチ10、11では、耕作土の下は基盤層となっており、包含層や遺構は認められなかった。（小野）

上東（じょうとう）遺跡確認調査報告（一覧表 No.45）

調査位置　上東字才ノ元568番外
調査原因　集合住宅建築工事　　**調査面積**　4㎡
調査期間　19.01.16　　**調査担当**　小野・藤原

遺跡の概要　倉敷市庄地区に所在する上東遺跡は、市域北東端を流れる足守川の西岸に位置する集落遺跡である。岡山県教育委員会による山陽新幹線や都市計画道路などの建設に伴う発掘調査では、弥生時代後期を中心とする数多くの竪穴式住居や井戸などが検出され、出土した土器は上東式土器として、岡山県南部における弥生時代後期の指標土器となっている。今回の調査地は、岡山県が発掘調査を行った才の元調査区のすぐ南側にあたる。県の調査においては、密度は低いながらも弥生から近世にかけての溝や井戸、土壙などが確認されており、微高地が広がっていたことが分かっている。また、1992年にはすぐ北側を走る市道の建設に伴って確認調査を実施したが、調査地に接するトレンチから弥生時代のものと推定されるピットや土壙を確認している。

調査の概要　調査は該当地に2×2mのトレンチ1か所を設定し、土層観察を中心に実施した。トレンチは該当敷地のほぼ中央に設定した。該当地には元々旧家屋が存在しており、最上層の灰色砂質土には3～5㎝大の橙色や褐灰色の粘質土ブロック及び土器細片が多く含まれていることから、人為的に動かされた土であると推定され、古い造成土と考えられる。その下の黄灰色粘質土は薄いしまりの弱い層であるが、宅地になる以前の耕作土の可能性がある。遺構は標高1.4m 程の暗灰黄色砂質土上面から掘り込まれていた。トレンチ西壁にかかる形でピット2基、北壁にもピット1基が確認された。埋土に遺物などは含まれておらず、その性格は不明である。なお、暗灰黄色砂質土からは中世土器片が出土しており、遺構は中世以降のものと考えられる。最下層の灰黄色砂質土から遺物は検出されなかった。



トレンチ位置図（S=1/2,500）

今回の調査では中世以降のものと考えられるピット3基が検出され、微高地の広がりが確認された。しかし確認された遺構の密度は低く、この付近が集落の縁辺部であったことが推定される。（藤原）

上東（じょうとう）遺跡確認調査報告（一覧表 No.52）

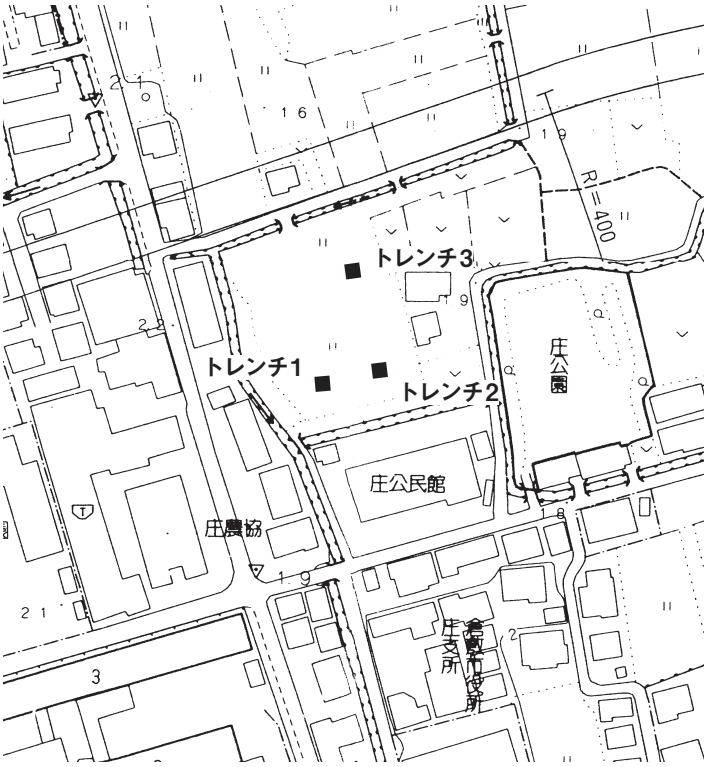
調査位置　上東字萬茶羅寺741番1外
調査原因　宅地造成工事　　**調査面積**　12㎡
調査期間　19.02.13　　**調査担当**　小野・藤原

遺跡の概要　上東遺跡は、足守川下流域に形成された沖積平野に立地する集落遺跡である。弥生時代後期を中心とし、中世までの遺構、遺物が確認されている。調査対象地は倉敷市教育委員会庄公民館のすぐ北に隣接する水田である。周辺では昭和62年度に庄公民館建て替えに伴う確認調査や、平成30年にすぐ東側で実施した宅地造成に伴う確認調査においても弥生時代の遺構・遺物が検出されている。

調査の概要　調査は該当地に2×2mのトレンチ3か所を設定し、土層観察を中心に実施した。

該当地の南西よりに設定したトレンチ1では、水田耕作土の直下からピット2基、土壙1基が検出された。ピット1には木炭を多く含む柱穴の痕跡（径約20㎝）が残っていた。埋土からは土師器椀が出土していることから、中世のものと考えられる。ピット2は検出のみで掘り下げていないが、ピット1と同じ埋土（灰色砂質土）であることから、やはり中世のものと推定される。土壙は径2m 以上の不整形な平面形を呈しており、埋土から弥生後期の土器片が多く出土していることから、弥生時代のものと考えられる。トレンチ2は該当地の南東よりに設定した。水田耕作土・床土の直下から土壙2基、溝状遺構1基が検出された。土壙1は直径1.5m 程の不整円形で、深さ50㎝程である。土壙2は規模が不明であるが、埋土中から30㎝大の花崗岩の板石が出土している。溝状遺構についてもトレンチ東側の壁際での検出のため、詳細は確認していない。いずれの遺構からも、弥生土器片及び中世の土器片が出土しており、中世段階のものと考えられる。該当地の北部に設定したトレンチ3では、水田耕作土・床土の直下からピット1基が検出された。トレンチ1・2と異なり、遺構の密度も低く、地表下80㎝まで弥生土器や中世土器片を含む層が続いている。

今回の調査では、トレンチ1・2を設定した該当地南部で多くの遺構が検出され、また、遺構の検出された土層もしっかりした基盤層であることから、安定した微高地が存在したことが推定される。一方、トレンチ3を設定した該当地の北部は、遺構の密度が低く、比較的深い層位まで中世土器が検出されることから、低湿地であった時期が長かったものと推定される。（藤原）



トレンチ位置図（S=1/2,500）

黒宮大塚墳丘墓測量調査報告（一覧表 No.55）

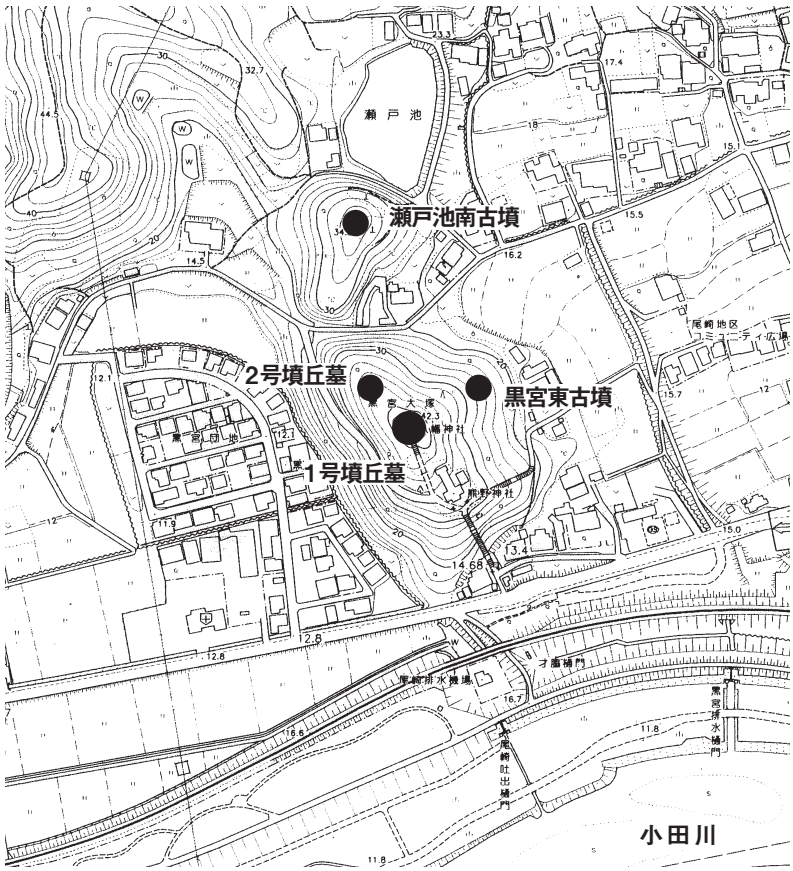
調査位置　真備町尾崎682番・680番1
調査原因　墳丘測量調査　　**調査面積**　約3,000㎡
調査期間　19.03.05～19.03.06　　**調査担当**　藤原

遺跡の概要　黒宮大塚墳丘墓は、真備町内を東流する小田川に向かって突出した標高約40ｍの尾根上に立地している。周辺の遺跡としては同じ尾根のすぐ東下方に黒宮東古墳（円墳・径15m）、北側に瀬戸池南古墳（方墳・一辺15m）等が存在し、また、北側の山塊にも瀬戸古墳群（前期か）や尾崎古墳群（後期）が所在する墳墓密集域である。

1977年に倉敷考古館による発掘調査が行われ[1]、全長60ｍの前方後方墳であるとされたが、現在では南北に連なる2基の弥生墳丘墓とする意見が大勢である[2]。そこで本稿では南側の後方部とされた部分を1号墳丘墓、北の前方部とされた部分を2号墳丘墓として記述する。1号墳丘墓では竪穴式石槨1基が確認され、副葬品として硬玉製勾玉1点が出土している。また、2号墳丘墓からは土壙墓4基が検出された。さらに墳丘各所から特殊器台などの土器が出土している。

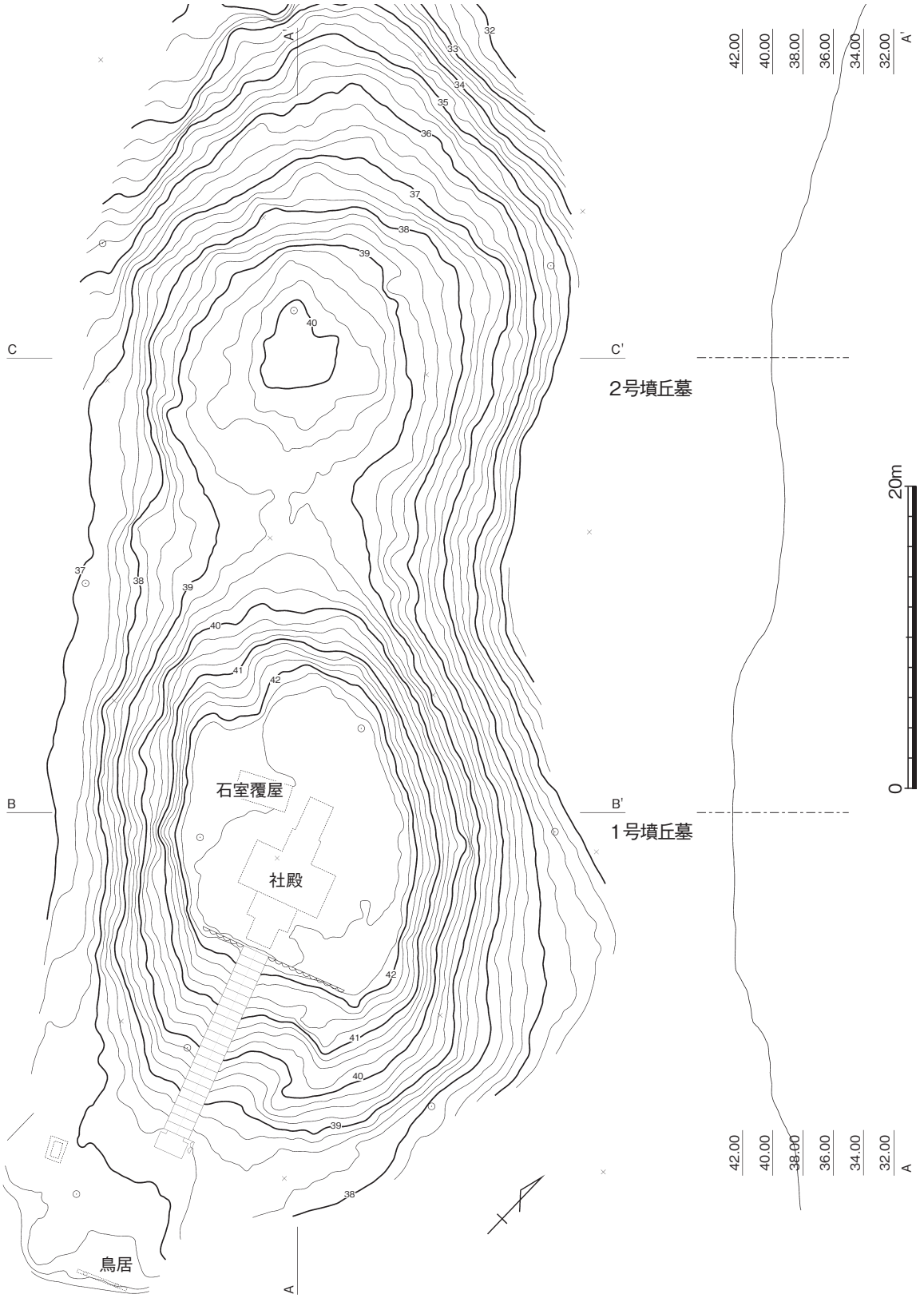
調査の概要　調査は二つの墳丘墓が南北に並んだものであることを明確化するとともに、方形とされる両墳丘墓の形状を確認・把握することを目的として実施した。実際の作業は業者委託し、地上設置型三次元レーザー測量によって平面図（等高線図・傾斜量図）・断面図を作成した。

測量の結果、両墳丘墓の間には両者を区分するように入り込む等高線（39.25m ライン）があり、それぞれ個別の墳丘墓である可能性が高まった。また、1号墳丘墓については、考えていた以上に墳丘が改変を受けている可能性があることも把握された。



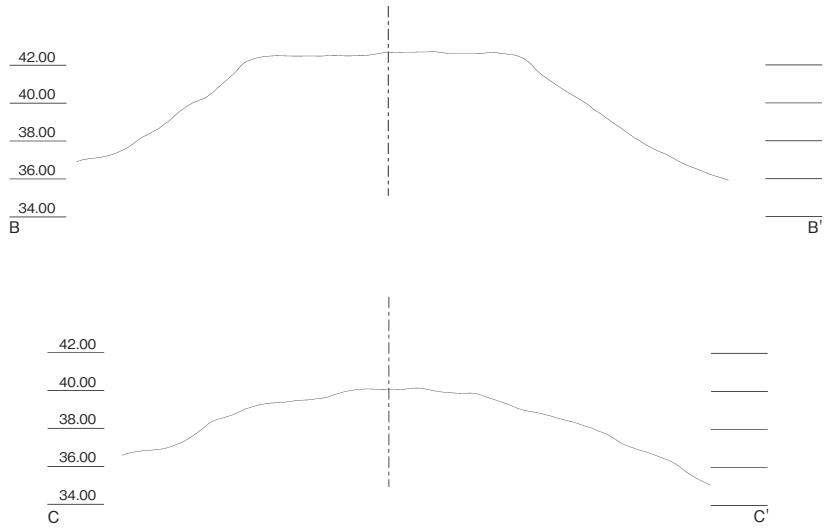
位置図（S=1/5,000）

1号墳丘墓の墳頂には大塚八幡神社の社殿があり、15×20m 程の平坦面となっている。墳丘周囲を見ると、南東側は大きくえぐられた部分があるとともに、社殿へ続く石段の改修によっても改変を受けている。南西側には北へ続く古い参道と思われる小径が通っているが、墳丘斜面の等高線には乱れが認められることから、やはり改変を受けている可能性が高い。北西側には社殿から北西に降りる小径がもうけられている。一方、北側から北東側にかけては等



墳丘平面・縦断面図（S=1/400）

間隔の等高線が、緩やかなカーブを描いており、改変を受けていないように見受けられる。このように、1号墳丘墓の墳丘は大きく改変を受けており、本来の状況を反映している可能性があるのは北側から東側にかけての部分のみと考えられる。その場合、等高線は緩やかなカーブを描くことからこれ



墳丘横断面図（S=1/400）

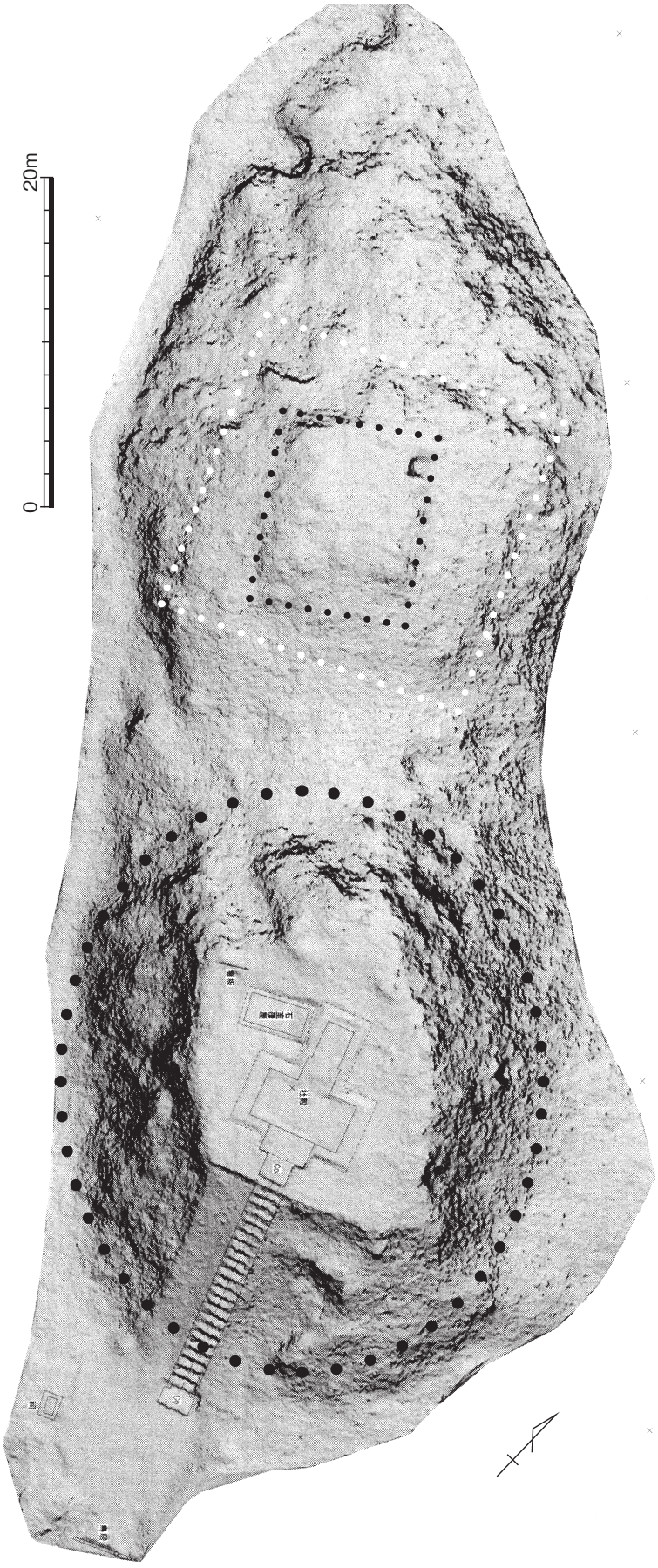
まで言われていたような方形墳丘墓であるとすることには疑問が生じる。

墳丘端と想定できる傾斜変換は、南東側では石段の下、標高38.5m付近、西側は小径に沿って北へ行くほど下るようになるが、標高37.25～37.5m付近に認められる。北東側は2号墳丘墓に続く高まりとなり、標高40m付近で傾斜が変化する。北側は急な傾斜が標高35m付近まで続き、墳丘端を明確に読み取ることができない。北東には自然の尾根が続く地形であり、標高37.5m付近に傾斜変換を認めることができる。

以上のように墳丘北側から北東側にかけての等高線を活かしながら、傾斜変換を考慮して墳形を当てはめると、次頁の傾斜量図（次頁）に楕円形の黒い点線で示したように長軸35m×短軸30m程の楕円形墳丘墓の可能性が考えられる。また、傾斜変換から推測される現状での墳丘高は、北西側で約2.5m、その他の三方向では4～5mとなる。

2号墳丘墓については、先学および測量前の地形観察では方形墳丘墓の可能性が考えられていたが、等高線図（前頁平面図）からは径16m程の円形墳丘墓のようにも見える。また、西側には1号墳丘墓の南西側から続く小径が通り、北西側は比較的新しい時期に植林が行われて、墳丘に近い部分までその影響を受けていると考えられる。一方、北東側から南東側にかけてはそれほど改変を受けていないように見える。西側の小径際の他には明瞭な傾斜変換を認めがたく、墳丘端がどのあたりなのかも明確ではない。そこで地形データを傾斜量図に変換して確認したところ、うっすらとではあるが傾斜のやや急な部分を示す影が方形に浮かび上がった。傾斜量図に方形の黒い点線と白い点線で示した範囲がそれである。黒い点線の範囲であれば10×12m程度、白い点線の範囲とした場合は一辺20m程の方形墳丘墓が考えられる。

2号墳丘墓では、倉敷考古館による調査によって土壙墓4基が確認されているが、これらは黒い点線の範囲にすべて収まっている。また、倉敷考古館の報告で「前方部寄り」の「遺物と有機土を含む一つの楕円形のわずかな掘りこみ」とされている遺構の北側掘方は黒い点線の南東の辺にほぼ一致している。これらのことから、2号墳丘墓は10×12m程度の規模と推定される。倉敷考古館の報告にある「わずかな掘りこみ」は墳丘の区画を意図した溝ではあるが、尾根を掘り切ってまではいないものである可能性を考えたい。なお、白い点線の範囲については、北東側斜面の等高線が直線的に平行することを主な根拠とするが、北西側と南西側は改変を受けており、南東側は不明瞭で、調査で検出された遺構とも一致しない。あえて北東側の状況を活かすとすると、集落側からの見栄えを考慮して、北東側のみ地形を整えた可能性が考えられる。黒宮大塚墳丘墓の載る尾根は北側の山塊から小田川に



傾斜量図（S=1/400）

向かって突出しており、その西側は低湿地、東側に緩やかな扇状地状の地形があったと推定される。当該期の集落は東側にあった可能性が高く、そこからの見かけ上の壮観さを演出したのではないだろうか。

以上のように、黒宮大塚墳丘墓は前方後方形ではなく、2基の墳丘墓が隣接するものであることはほぼ間違いないと思われる。また、1号墳丘墓は従来言われていたような方形墳丘墓ではなく、楕円形墳丘墓の可能性が考えられ、その規模は長軸35m×短軸30m程、高さは4～5m程となる。一方、2号墳丘墓は、短辺10m×長辺12m程度の低平な墳丘墓と推定される。ただ、墳端等に不明確な部分があり、より正確な形態・規模を示すには、再度の発掘調査によって盛土の範囲を把握することが必要となるだろう。

なお、本測量調査および報告にあたっては以下の方々にお世話になった。末筆ながら、記して感謝したい。大橋雅也　澤田秀実　平井典子　三宅邦夫　（藤原）

註

1）間壁忠彦・間壁葭子・藤田憲司1977「岡山県黒宮大塚古墳」『倉敷考古館研究集報 第13号』（財）倉敷考古館

2）近藤義郎1986「88黒宮大塚弥生墳丘墓」『岡山県史 第18巻 考古資料』岡山県

Ⅴ 寄贈図書一覧（2018.4.1～2019.3.31）

宮城県	
多賀城市埋蔵文化財調査センター	多賀城市埋蔵文化財調査センター年報 - 平成29年度 -
松島町教育委員会	瑞巌寺境内遺跡
山形県	
東北芸術工科大学芸術学部歴史遺産学科	歴史遺産研究 第12号
茨城県	
筑波大学歴史・人類学専攻	筑波大学 先史学・考古学研究第29号
栃木県	
（公財）とちぎ未来づくり財団	栃木県埋蔵文化財保護行政年報40、遺跡の発掘と活用の記録、研究紀要 第26号、栃木県埋蔵文化財センターだより 2018 9月、西高椅遺跡Ⅰ
高根沢町教育委員会	会橋久保経塚発掘調査報告書
群馬県	
富岡市教育委員会	上北山遺跡 大牛下原遺跡（松義西部地区遺跡群Ⅰ）、平成26年度富岡市内遺跡確認調査報告書、平成27年度富岡市内遺跡確認調査報告書、上高瀬境谷戸遺跡、七日市小沢西遺跡Ⅲ、中里下原遺跡Ⅱ 中里中原遺跡Ⅱ（縄文時代編）中里美也平遺跡 中里原遺跡 二本杉遺跡（松義西部地区遺跡群Ⅳ）
千葉県	
千葉市埋蔵文化財調査センター	埋蔵文化財調査（市内遺跡）報告書 - 平成30年度 -、千葉市貝殻畑遺跡、千葉市東海道遺跡（第2次）
国立歴史民俗博物館	わくわくする研究を歴博で！
国立歴史民俗博物館	国立歴史民俗博物館研究報告 第209集～第213集・第215集、要覧 平成30（2018）年度
東京都	
宮内庁書陵部	書陵部紀要第69号・第69号（陵墓篇）
文化庁	地方における文化行政の状況について（平成28年度）、埋蔵文化財関係統計資料
早稲田大学考古学会	古代第141号・第142号
国学院大学文学部考古学研究室	穂高古墳群2015年度 F9号墳発掘調査報告書、穂高古墳群2016・2017年度 F9号墳発掘調査報告書
青山学院大学文学部史学科研究室	青山史学 第三十六号
神奈川県	
海老名市教育委員会	望地遺跡発掘調査報告書 - 第9次調査 -
富山県	
小矢部市教育委員会	平田・藤森遺跡発掘調査報告書、平成26年度小矢部市埋蔵文化財発掘調査概報、平成27年度小矢部市埋蔵文化財発掘調査概報、平成28年度小矢部市埋蔵文化財発掘調査概報、平成29年度小矢部市埋蔵文化財発掘調査概報
射水市教育委員会	射水市内遺跡発掘調査報告10
山梨県	
北杜市教育委員会	諏訪原遺跡・屋代氏館跡、山崎第4遺跡、竹宇1遺跡、宮尾根C遺跡、浅尾原Ⅵ遺跡、前町遺跡・大日川原遺跡、頭無A遺跡、向山遺跡、寺所遺跡、北杜市文化財年報 - 平成18年度 -、史跡谷戸城跡、史跡梅之木遺跡整備事業報告書、大久保（白須）遺跡、湯沢遺跡、寺所第2遺跡Ⅱ（古代・中近世編）、向原遺跡、西ノ原B遺跡、竹宇3遺跡、丘の公園第1遺跡、駒飼場遺跡 平林遺跡、下フノリ平遺跡、上条宮久保遺跡、御崎遺跡
長野県	
（一財）長野県文化振興事業団	出川南遺跡
上田市教育委員会	市内遺跡、山越古墳、上田城櫓調査報告書、西畑道下遺跡、史跡上田城跡、上田城跡（上田藩主居館跡）、上田城跡（中屋敷跡・作事場跡）、市内遺跡、信濃国分寺跡、手筒山遺跡、信濃国分寺跡

松本市教育委員会（文化財課）	長野県松本市 松本城下町跡念来寺 第1次発掘調査報告書、県町遺跡 - 第16・17次発掘調査概要報告書 -、長野県史跡小笠原氏城跡 林城跡（小城）発掘調査報告書、長野県松本市殿村遺跡第8次発掘調査報告書・虚空蔵山城跡第2・3・4次発掘調査報告書
辰野町教育委員会	外畦遺跡
長野県立歴史館	長野県立歴史館たより vol.95～ vol.98、最古の信州ブランド黒曜石
岐阜県	
養老町教育委員会	竜泉寺廃寺跡分布測量調査報告書
静岡県	
静岡県埋蔵文化財センター	ふじのくに考古通信 Vol.15・Vol.16
伊東市教育委員会	井戸川遺跡
静岡市立登呂博物館	静岡市立登呂博物館館報 第24号（平成29年度）
愛知県	
一宮市博物館	馬見塚遺跡出土遺物調査報告書Ⅰ、苅安賀遺跡発掘調査報告書、一宮市博物館年報（15）、一宮市博物館だより 第61号
南山大学人類学博物館	南山大学人類学博物館紀要第37号
豊田市郷土資料館	根川1・2号墳、寺部遺跡Ⅷ、豊田大塚古墳Ⅲ、豊田市郷土資料館だより No.101～No.103、平成28年度市内遺跡発掘調査事業概要報告書、京町遺跡（京町藤塚古墳）・郷上遺跡（豊田市1次・3次調査）
三重県	
松阪市文化財センター	平成27年度年報、平成28年度年報
志摩市教育委員会	平成23～28年度志摩市内遺跡発掘調査報告、おじょか古墳と5世紀の倭、志摩市の文化財
鈴鹿市考古博物館	鈴鹿市考古博物館年報第19号、磐城山遺跡（第7-2・8・8-2次）発掘調査報告書、伊勢国府跡20、八野遺跡（第1次）、史跡伊勢国分寺跡 - 遺物編 -
滋賀県	
守山市立埋蔵文化財センター	伊勢遺跡発掘調査総括報告書、平成28年度国庫補助対象遺跡発掘調査報告書
東近江市埋蔵文化財センター	東近江市埋蔵文化財調査報告書第32集～第34集
（公財）滋賀県文化財保護協会	おうみ文化財通信 Vol.35～ Vol.38、紀要 第31号、夏休みの工作・自由研究をサポート スマホ・デ・考古学
（公財）栗東市体育協会	栗東市埋蔵文化財調査報告 2016（平成28）年度年報、出た・見た・触れた 先人からのメッセージ、はっくつ2017- 栗東市話題の発掘調査 -
滋賀県教育委員会	上御殿遺跡、塩津港遺跡1、辻遺跡、滋賀県内遺跡発掘調査報告書、八幡城下町遺跡、賀田山遺跡
大津市教育委員会	穴太遺跡（蟹川地区）発掘調査報告書、穴太遺跡（隅田地区）発掘調査報告書、坂本遺跡発掘調査報告書、近江国府跡発掘調査報告書、滋賀里遺跡（三反田地区）発掘調査報告書、曼陀羅山古墳群発掘調査報告書、穴太遺跡発掘調査報告書、大津市埋蔵文化財調査年報 - 平成29（2017）年度 -
野洲市教育委員会	平成29年度野洲市文化財調査概要報告書、平成29年度野洲市埋蔵文化財調査概要報告書、平成30年度野洲市内遺跡発掘調査年報、平成30年度野洲市文化財調査概要報告書
高島市教育委員会	下花貝遺跡発掘調査報告書、高島市内遺跡調査報告書 - 平成29年度 -
竜王町教育委員会	ブタイ遺跡発掘調査概要報告書Ⅲ、竜王町内遺跡発掘調査概要報告書 平成28,29年度
甲良町教育委員会	法養寺遺跡・横関遺跡
滋賀県立安土城考古博物館	おおてみち第103号～第106号
滋賀県立大学人間文化学部	人間文化44号～46号
京都府	
（公財）京都府埋蔵文化財調査研究センター	京都府埋蔵文化財情報第133号～第135号
（公財）向日市埋蔵文化財センター	長岡京墨書土器集成、埋もれた文字 - 長岡宮の墨書土器 -、年報 都城30、長岡

	京跡 修理式遺跡
京都府教育庁	京都府埋蔵文化財調査報告書（平成29年度）
京都市文化芸術都市推進室	芝古墳（芝1号墳）調査総括報告書、京都市内遺跡詳細分布調査報告 平成29年度、京都市内遺跡発掘調査報告 平成29年度、京都市内遺跡試掘調査報告 平成29年度
与謝野町教育委員会	板列遺跡、平成28年度国庫補助事業発掘調査報告書、平成29年度国庫補助事業発掘調査報告書
南丹市立文化博物館	南丹市立文化博物館だより第14号、村上公也展～身近なものたち～、岩崎革也宛書簡集Ⅰ（堺利彦・為子書簡）、人見少華 - 南画を極めた文人画家 -、田村宗立～リアリティーを追求した画家～、岩崎家と丹波
（公財）京都市埋蔵文化財研究所	長岡京左京九条三坊四町跡・淀水垂大下津町遺跡・與杼神社旧境内、寺町旧域（本能寺跡）、長岡京跡・淀城跡、特別史跡・特別名勝 鹿苑寺（金閣寺）庭園、平安京左京六条一坊七町跡、平安京右京九条一坊九町跡（西寺跡）・唐橋遺跡、寺町旧域・御土居跡、平安京右京九条一坊十五・十六町跡（西寺跡）・唐橋遺跡、特別史跡・特別名勝 鹿苑寺（金閣寺）庭園、六波羅政庁跡・京焼窯跡（井野祝峰窯）、平安京右京七条一坊二・四・七・八町跡、御土居跡、堂ノ口町遺跡、平安京左京八条四坊八町跡・御土居跡、平安京左京九条三坊八町跡・烏丸町遺跡、上京遺跡、伏見城跡、音羽・五条坂窯跡（浅見五郎助窯）、長岡京跡・淀城跡、平安京右京三条三坊五町跡
京都橘大学	ゴーランド・コレクション総合研究の新知見に基づく日本古墳時代像・研究史の再構築、京都橘大学大学院研究論集 第16号、京都橘大学 歴史遺産調査報告2017
大阪府	
高槻市立埋蔵文化財調査センター	安満遺跡 - 平成26年度確認調査速報 -、安満遺跡 - 平成27年度確認調査速報 -、嶋上遺跡群42、高槻市文化財年報 平成27年度
泉南市埋蔵文化財センター	泉南市遺跡群発掘調査報告書ＸＸＸＶ、信達神社歴史的建造物調査報告書
堺市教育委員会	百舌鳥古墳群の調査11、百舌鳥古墳群の調査12、陵西遺跡（RSY-12）発掘調査概要報告 - 堺区六条通 -、倭の五王と百舌鳥・古市古墳群 - 東アジアからみた巨大古墳 -、史跡 土塔と刻書瓦、平成29年度国庫補助事業発掘調査報告書、太井遺跡（TAI-10）・大保遺跡（DIH-9）発掘調査概要報告 - 美原区黒山 -、堺環濠都市遺跡発掘調査概要報告 -SKT1166・堺区熊野町東5丁 -、堺環濠都市遺跡発掘調査概要報告 -SKT1194・堺区車之町西1丁 -
（公財）枚方市文化財研究調査会	枚方市文化財年報39 2017年度
（公財）八尾市文化財調査研究会	弓削遺跡 第17次調査、成法寺遺跡 第29次調査、平成29年度（公財）八尾市文化財調査研究会事業報告、恩地遺跡・東弓削遺跡
豊中市教育委員会	新免遺跡第68・69・70次発掘調査報告書
枚方市教育委員会	枚方市埋蔵文化財発掘調査概要2017
羽曳野市教育委員会	古市遺跡群ＸＸＸⅨ、羽曳野市内遺跡調査報告書 - 平成27年度 -
富田林市教育委員会	中野遺跡、錦織遺跡、平成29年度 富田林市内遺跡群発掘調査報告書
泉佐野市教育委員会	平成29年度泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要、宮ノ前遺跡、羽倉崎北遺跡14-1区の調査、泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要第85号・第86号
交野市教育委員会	森遺跡ＸⅠ、森遺跡ＸⅡ、交野市文化財分布地図（平成30年度改訂版）、平成29年度交野市埋蔵文化財発掘調査概要、交野市文化財だより第29号
吹田市教育委員会	平成29（2017）年度 埋蔵文化財緊急発掘調査概報、垂水南遺跡発掘調査報告書Ⅲ
四條畷市教育委員会	四條畷市文化財調査年報第5号
河内長野市教育委員会	河内長野市埋蔵文化財調査報告書39、史跡烏帽子形城跡整備工事報告書
大阪府立近つ飛鳥博物館	百舌鳥・古市古墳群に学ぶ、古墳と水のマツリ、博物館だより - アスカディア・古墳の森 vol.48・vol.49、4世紀のヤマト王権と対外交渉、一須賀古墳群を考える、大阪府立近つ飛鳥博物館 館報21、歴史発掘おおさか2017-2018

吹田市立博物館	ニュータウン誕生、博物館だより No.73～No.76、館報18、東洋一の夢の跡 - 吹田操車場遺跡展 -、西村公朝 芸術家の素顔
大阪府立狭山池博物館	大阪府立狭山池博物館研究報告9、王者のひつぎ
大阪歴史博物館	なにわ歴博カレンダー No.68、大阪歴史博物館年報 平成29年度
大阪大谷大学	歴史文化研究第18号、志学台考古第18号
兵庫県	
姫路市埋蔵文化財センター	市之郷遺跡第16次発掘調査報告書、村東遺跡、姫路城城下町跡 - 姫路城跡第360次発掘調査報告書 -、姫路城城下町跡 - 姫路城跡第363次発掘調査報告書 -、石ツミ遺跡第2次発掘調査報告書、山吹遺跡発掘調査報告書、市之郷遺跡第17次発掘調査報告書、実相寺遺跡・実相寺廃寺発掘調査報告書、姫路城城下町跡 - 姫路城跡第381次発掘調査報告書 -、国分寺台遺跡第1次発掘調査報告書、姫路城城下町跡 - 姫路城跡第376次発掘調査報告書 -、実相寺遺跡・実相寺廃寺発掘調査報告書、姫路市埋蔵文化財調査年報2018、史跡赤松氏城跡 置塩城跡 保存活用計画、平野廃寺発掘調査報告書、姫路城城下町跡 - 姫路城跡第375次発掘調査報告書 -、別所村前遺跡発掘調査報告書、姫路城城下町跡 - 姫路城跡第374次発掘調査報告書 -
神戸市教育委員会	平成27年度 神戸市埋蔵文化財年報、兵庫津遺跡第69次発掘調査報告書、北青木遺跡第8次発掘調査報告書、深江北町遺跡第17次埋蔵文化財発掘調査報告書、神出窯跡群発掘調査報告書、山にくらし、いのり、たたかう～神戸の山の考古学～、昭和のくらし・昔のくらし12、“大輪田”“兵庫”そして“神戸”、“もったいない”の文化～リサイクル・リユースの考古学～
伊丹市教育委員会	神津の遺跡、有岡城跡発掘調査報告書ＸＸⅡ
芦屋市教育委員会	平成27年度芦屋市内遺跡発掘調査報告書、平成27・28年度国庫補助事業 芦屋市内遺跡発掘調査概要報告書、平成9年度国庫補助事業 芦屋市内遺跡発掘調査概要報告書
赤穂市教育委員会	発掘された赤穂城下町4、有年考古 第5号・第6号
尼崎市教育委員会	尼崎市内遺跡 発掘調査等
姫路市立城郭研究室	城郭研究室年報 vol.27・vol.28
川西市教育委員会	平成28年度川西市発掘調査報告
福崎町教育委員会	南田原条理遺跡（第40次）、埋蔵文化財調査報告書
佐用町教育委員会	国指定史跡利神城跡、平成28年度埋蔵文化財調査年報
多可町教育委員会	牧野・大日遺跡Ⅱ
兵庫県立考古博物館	兵庫県立考古博物館ＮＥＷＳ vol.22・vol.23、観音寺跡・広根遺跡2、石道才谷・堂ノ後遺跡、日下部遺跡2、西垣古墳群・岩谷古墳群、井手田遺跡、兵庫県古代官道関連遺跡調査報告書Ⅳ
（公財）兵庫県まちづくり技術センター	ひょうごの遺跡第98号・第99号
播磨町郷土資料館	大中遺跡まつり、館報29
大手前大学史学研究所	大手前大学史学研究所紀要 第12号、新発見・西宮の地下に眠る古代遺跡
奈良県	
桜井市立埋蔵文化財センター	大福遺跡第27次発掘調査報告書、50㎝下の桜井、がっこうの下には何があったの？～市内小学校区の最新調査成果から～、纒向遺跡発掘調査報告書4、平成28年度国庫補助による発掘調査報告書、平成29年度国庫補助による発掘調査報告書
奈良文化財研究所	古代瓦研究Ⅷ、埋蔵文化財ニュース No.170～No.173
橿原市教育委員会	平成29年度橿原市文化財調査年報
田原本町教育委員会	田原本町文化財調査年報25、唐子・鍵遺跡考古資料目録Ⅲ
斑鳩町教育委員会	斑鳩文化財センター年報 第7号、斑鳩古塔展、国宝藤ノ木古墳出土品里帰り展
上牧町教育委員会	史跡上牧久渡古墳群保存活用計画、史跡上牧久渡古墳群発掘調査報告書Ⅲ
唐古・鍵考古学ミュージアム	古墳時代黎明 - 唐古・鍵弥生ムラのその後 -、唐古・鍵遺跡の重要文化財～新指定品の紹介～

帝塚山大学考古学研究所	帝塚山大学考古学研究所研究報告ＸＸ
桜井市纒向学研究センター	纒向学研究第6号、纒向考古学通信 Vol.12、纒向学研究センター年報 第6号
(公財)元興寺文化財研究所	藤原京右京十二条三坊・石川廃寺、石川土城遺跡、金光寺木造宝篋印塔調査報告書、中世墓の終焉と石造物、明王院一石五輪塔調査報告書、天野山金剛寺木製五輪塔調査報告書、経納遺跡測量調査報告書、平泉周辺石造物集成
天理大学附属天理参考館	天理参考館報第31号
奈良大学文学部文化財学科	文化財学報 第三十六集、斑鳩大塚古墳発掘調査報告書Ⅳ
天理大学考古学・民俗学研究室	古事　第22冊
(公財)桜井市文化財協会	赤坂天王山古墳の研究
和歌山県	
(公財)和歌山県文化財センター	地宝のひびき - 和歌山県内文化財調査報告会 - 発表資料集、公開シンポジウム 中世紀の国の武士団とその居館、歩いて知るきのくに歴史探訪 根香寺再発見、公益財団法人法人和歌山県文化財センター年報2017、
有田川町教育委員会	平成29年度有田川町埋蔵文化財調査年報、藤並城跡発掘調査現地説明会資料、平成30年度有田川町埋蔵文化財調査年報
鳥取県	
鳥取県埋蔵文化財センター	青谷横木遺跡、青谷上寺地遺跡発掘調査研究年報2016、秋里遺跡（松下地区)、下坂清合遺跡、乙亥正屋敷廻遺跡
(公財)鳥取市文化財団	山手地ユノ谷上分遺跡、山手遺跡群、曳田小寺遺跡・八上古墳群、片山林立遺跡
(一財)米子市文化財団	金廻芦谷平遺跡・越敷山古墳群（金廻地区)、埋蔵文化財調査室年報5、米子市埋蔵文化財センター・米子市福市考古資料館年報第7号、国指定史跡米子城跡、米子市内遺跡発掘調査報告書、国指定史跡米子城跡2、史跡 青木遺跡(5号地)Ⅱ
大山町教育委員会	退休寺第1遺跡、町内遺跡発掘調査報告書Ⅹ
琴浦町教育委員会	別所第4遺跡発掘調査報告書、鳥取県東伯郡琴浦町町内遺跡発掘調査報告書
鳥取県立むきばんだ史跡公園	妻木晩田遺跡発掘調査研究年報2017
島根県	
島根県埋蔵文化財調査センター	古屋敷遺跡、史跡出雲国府跡 -10-、御堂谷遺跡・諸友大師山横穴Ⅳ群1号穴、高浜Ⅰ遺跡(3区)、垂水遺跡・松林寺遺跡・庵寺石塔群、久村鉱山跡 - 選鉱場の調査 -、静間城跡、田渕遺跡、静間城跡、大国地頭所遺跡
(公財)松江市スポーツ振興財団	松江城下町遺跡（母衣町115)、埋蔵文化財課年報〈21〉、海崎古墳群、松江城下町遺跡～大手前通りの調査成果～、城山北公園線都市計画街路事業に伴う松江城下町遺跡発掘調査報告書8、白岸古墳群、朝酌橋ノ谷遺跡、大庭北原遺跡・東淵寺古墳・大庭植松遺跡、魚見塚遺跡・朝酌菖蒲谷遺跡、福浦法田峠2号墳
益田市教育委員会	大元古墳群、三宅御土居跡Ⅲ、半田遺跡群
出雲市役所	平成29年度出雲市文化財調査報告書、上塩冶横穴墓群 第3支群
島根県立八雲立つ風土記の丘資料館	八雲立つ風土記の丘 No.222・No.223
島根大学法文学部考古学研究室	古天神古墳の研究
岡山県	
岡山県古代吉備文化財センター	所報吉備第65号・第66号、百間川一の荒手及び背割堤 百間川二の荒手2、攻略！おかやまの中世城館 第五巻、岡山城二の丸跡、新池尻遺跡、岡山の弥生時代1
津山弥生の里文化財センター	津山城だより No.22、津山弥生の里第25号、史跡津山城跡
岡山市埋蔵文化財センター	上伊福（済生会）遺跡4、岡山市埋蔵文化財センター研究紀要第10号、大供本町(鹿田小)遺跡、岡山市埋蔵文化財センター年報17、南方遺跡
井原市文化財センター	「古代まほろば館」年報8・9
岡山県教育委員会	岡山県埋蔵文化財報告48、埋蔵文化財関係統計資料 - 平成29年度 -
備前市教育委員会	不老山窯跡発掘調査報告書 遺物補遺篇、備前市文化財レポート2017【年報】、備前焼の製作道具調査報告書、窯構造を考える～備前焼の生産と画期～
総社市教育委員会	高本古墳群Ⅱ、狩谷遺跡 狩谷古墳群、総社市埋蔵文化財調査年報27
津山郷土博物館	津博 No.95～ No.97、津山市史だより第10号～第12号、平成29年度津山郷土博物館年報、津山市史研究 第4号、津山松平藩町奉行日記 二十四

岡山県立美術館	美術館ニュース第121号～第123号
岡山シティミュージアム	岡山びと 第12号
岡山大学文学部考古学研究室	二万大塚古墳、前方後円墳の三次元計測、先端技術で描く文化遺産の新実像
岡山大学大学院社会文化科学研究科	津倉古墳第2次・第3次発掘調査概要報告
岡山大学埋蔵文化財調査研究センター	縄文時代の海岸線復元と遺跡動態、鹿田遺跡11、鹿田遺跡12、岡山大学埋蔵文化財調査研究センター紀要2016
岡山理科大学 自然科学研究所	自然科学研究所研究報告第43号
岡山理科大学 地理・考古学研究室	佐山東山窯跡群第7次発掘調査概報
岡山市立オリエント美術館	岡山市立オリエント美術館研究紀要31
倉敷市文書館（アーカイブス）研究会	倉敷の歴史 第28号
岡山県遺跡保護調査団事務局	調査団ニュース51号・52号
広島県	
（公財）広島県教育事業団	ひろしまの遺跡第120号・第121号、上ノ城跡、平成29年度ひろしまの遺跡を語る 瀬戸内から考える邪馬台国とその時代 記録集、年報15、天地遺跡（第1～3次調査）, 天地第1・2号古墳、亀居城関連遺跡・亀居城跡、地頭分遺跡、夕倉遺跡
広島県教育委員会	平成27年度広島県内遺跡発掘調査（詳細分布調査）報告書、平成28年度広島県内遺跡発掘調査（詳細分布調査）報告書
東広島市教育委員会	東広島市歴史文化基本構想、シンポジウム 安芸地方の中世を探る～中世前期を中心として～、工事と発掘調査、東ひろしまの遺跡 Vol.3・Vol.6、広島大学の埋蔵文化財、比類なき酒蔵集積地
三次市教育委員会	岩脇遺跡発掘調査・岩脇古墳群測量調査報告書、みよし古墳巡りマップ、三次市埋蔵文化財年報 - 平成28年度 -
庄原市教育委員会	庄原市文化財だより、佐田谷・佐田峠墳墓群発掘調査報告書 研究編
安芸高田市教育委員会	甲立古墳保存活用計画、稲山遺跡
尾道市	尾道市内遺跡、日本遺産ガイドブック～石造物編～、尾道と塩の文化
福山市経済環境局	福山城跡、福山市文化財年報46、鞆の浦と朝鮮通信使、湯伝遺跡第2次調査報告書、福山市内遺跡発掘調査概要ⅩⅡ、御領遺跡第154次調査報告書
広島大学総合博物館	広島大学埋蔵文化財調査研究紀要 第9号、HUM-HUM Vol.11
山口県	
山口県埋蔵文化財センター	阿弥陀寺、陶けん第31号、山口県埋蔵文化財センター年報 - 平成29年度普及公開事業等の記録 -
山口県教育委員会	山口県中世城館遺跡総合調査報告書 - 周防国編 -
下関市教育委員会	丸小山墳墓群
柳井市教育委員会	明力遺跡
山口大学人文学部考古学研究室	史跡周防鋳銭司跡の研究Ⅰ、古代武器研究 vol.13
山口大学埋蔵文化財資料館	てらこや埋文2018年春号、山口大学埋蔵文化財資料館年報 - 平成25年度 -
萩市歴史まちづくり部	史跡萩城跡（東園）
徳島県	
（公財）徳島県埋蔵文化財センター	新居見遺跡（Ⅰ）（縄文時代・弥生時代篇）、川西遺跡
徳島市教育委員会	史跡渋野丸山古墳発掘調査報告書Ⅰ、三谷遺跡
小松島市教育委員会	北佃遺跡発掘調査報告書
徳島大学埋蔵文化財調査室	庄・蔵本遺跡3、徳島大学埋蔵文化財調査室ニュースレター No.5
香川県	
香川県埋蔵文化財センター	香川県埋蔵文化財センター年報 平成29年度、埋蔵文化財試掘調査報告30、上林遺跡、三谷中原遺跡、西村遺跡、石田高校校庭内遺跡、岸の上遺跡、讃岐国府跡2
香川県教育委員会	香川県文化財年報 平成28年度
善通寺市教育委員会	旧練兵場遺跡・王墓山古墳・岡古墳群・善通寺旧境内、善通寺市内遺跡発掘調査事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書18

丸亀市教育委員会	丸亀市内遺跡発掘調査報告書第16集、丸亀城跡発掘調査報告書 - 大手町地区第3次・第4次調査 -
さぬき市教育委員会	さぬき市内中世石造物分布調査（長屋東・長尾西・昭和南半・長尾名・前山・多和編）、さぬき市内中世石造物分布調査（造田・昭和北半編）、横内遺跡、讃岐遍路道 大窪寺道 調査報告書
香川県政策部	四国八十八ヶ所霊場第七十二番札所 曼荼羅寺調査報告書、四国八十八ヶ所霊場第七十三番札所 出釈迦寺調査報告書、四国八十八ヶ所霊場第八十七番札所 長尾寺調査報告書
坂出市教育委員会	坂出市内遺跡発掘調査概報 - 平成28年度国庫補助時宜用 -
香川県立ミュージアム	香川県立ミュージアムニュース vol.44
愛媛県	
（公財）愛媛県埋蔵文化財センター	紀要愛媛 第14号、松山北高等学校遺跡5次、高見Ｉ遺跡2次、余戸中の孝遺跡3･6次、長沢元瀬遺跡・長沢二反地遺跡、鳥越1号墳、旗屋遺跡Ⅱ・上三谷篠田・鶴吉遺跡、伊予国府を考える、伊予の木工芸、愛比売 平成29年度年報
（公財）松山市文化・スポーツ振興財団	余戸中ノ孝遺跡1・2・4・5次調査、余戸柳井田遺跡1・2・3・6次調査、東垣生八反地遺跡1・3・4次調査、南吉田南代遺跡1次調査、恵原新張遺跡 -1次・2次・3次調査 -、松山市埋蔵文化財調査年報30
今治市教育委員会	伊予国府を考える、宮ヶ崎山形遺跡 - 第2次調査 -、市内遺跡試掘確認調査報告書（平成28年度 個人民間開発に伴う調査）、市内遺跡試掘確認調査報告書（平成28年度 公共事業に伴う調査）
松山市教育委員会	斎院烏山遺跡3次調査・朝美辻遺跡3次調査
鬼北町教育委員会	ドキドキ土器作り体験 !!、奈良山等妙寺 中世から近世 等妙寺の現在（いま）、彦惣岩屋、史跡等妙寺旧境内 - 平成24～29年度災害復旧事業報告書 -、国史跡等妙寺旧境内、中世等妙寺の具体像に迫る
東温市立歴史民俗資料館	揚り畑遺跡 -7次・8次調査 -
高知県	
（公財）高知県文化財団	高知県埋蔵文化財センター年報第27号
高知県教育委員会	文化財こうち第4号・第5号
高知県立歴史民俗資料館	岡豊風日第101号～第104号、高知県立歴史民俗資料館年報 No.27
福岡県	
久留米市埋蔵文化財センター	久留米市文化財保護課年報 vol.13、十間屋敷遺跡 - 第6次発掘調査報告 -、筑後国府跡 - 第287次発掘調査報告 -、平成29年度久留米市内遺跡群、野口遺跡 第2次調査 - 石器編 -、十間屋敷遺跡 - 第7次発掘調査報告 -、久留米市埋蔵文化財調査集報ⅩⅧ、筑後国府跡 - 第286次発掘調査報告 -、古町遺跡 - 第1次発掘調査概要報告 -、筑後国府跡 - 第288次発掘調査報告 -、麓遺跡 - 第1次発掘調査報告 -、ヘボノ木遺跡 - 第73次発掘調査報告 -、十間屋敷遺跡 - 第8次発掘調査報告 -、筑後国府跡 - 第289次発掘調査報告 -、汐入遺跡 - 第1分冊 第2次発掘調査編 -、汐入遺跡 - 第2分冊 第3次発掘調査編 -
北九州市教育委員会	花尾城跡、村上氏庭園、重住遺跡第4地点、森山遺跡3区
大野城市教育委員会	雑餉隈遺跡、乙金地区遺跡群21、大野城市の文化財 第48集、乙金地区遺跡群22、京塚遺跡1、乙金地区遺跡群23、上園遺跡6、上園遺跡7、森園遺跡4、村下遺跡4、石勺遺跡7、薬師の森遺跡4、乙金地区遺跡群20、牛頸野添遺跡群6、村下遺跡5
筑紫野市教育委員会	前畑遺跡第13次発掘調査、原田地区遺跡群4
春日市教育委員会	須玖唐梨遺跡2
豊前市教育委員会	中村屋敷田遺跡・松江炭山遺跡、岸井野入遺跡・久路土門田遺跡
朝倉市教育委員会	上秋月遺跡群、上須川遺跡、下古毛遺跡、朝倉市文化財年報（平成25年度）
糸島市教育委員会	伊都国歴史博物館年報12・13、伊都国歴史博物館紀要第11
（公財）北九州市芸術文化振興財団	埋蔵文化財調査室年報34、研究紀要 - 第32号 -、森屋敷遺跡第2地点、祇園町遺跡第11地点、砥石山遺跡第4地点、小倉城三ノ丸跡第10地点、先ノ下遺跡第

	3地点、金田遺跡第2地点、京町遺跡第11地点、京町遺跡第9・12地点、北浦廃寺第6次調査、高槻遺跡第14地点、稗田河遺跡第4地点、木町遺跡、上徳力遺跡第27地点、則定遺跡
福岡市経済観光文化局	比恵79～85、箱崎52～56、元岡・桑原遺跡群29～31、博多158～161、那珂77･78、都地遺跡6、千里大久保遺跡1、雑餉隈遺跡9、雀居11、五十川遺跡8･9、有田・小田部58、史跡鴻臚館跡、福岡市埋蔵文化財年報 VOL.31、福岡市埋蔵文化財センター年報第36号
北九州市立自然史・歴史博物館	北九州市立自然史・歴史博物館研究報告 B 類歴史第15号
九州歴史資料館	九州歴史資料館研究論集43、九歴だより No.47・No.48
福岡大学人文学部考古学研究室	立願寺大塚古墳測量調査報告書、柏原歴史の散歩道、土器・金属器の日韓交渉
佐賀県	
佐賀市教育委員会	東名遺跡のすべて、有明海の恵みと縄文人、今山八幡籠遺跡 -1区の調査 -、尼寺四本杉遺跡 -5区の調査 -、尼寺一本松・鍵尼遺跡 -8区の調査 -、灰塚遺跡 -1区の調査 -、佐賀城跡Ⅴ、蛎久遺跡 -4区の調査 -、佐賀市埋蔵文化財確認調査報告書 -2015年度 -、久池井二本松遺跡 -8区の調査 榎木遺跡 -7区 A の調査 -、榎木遺跡 -7区 B の調査 -
唐津市教育委員会	唐津城大解剖～石垣修理から見えてきた唐津城の真実～、唐津市内遺跡確認調査(34)、唐津城跡(Ⅸ)、岸岳古窯跡群Ⅳ
神埼市教育委員会	市内遺跡確認調査概要報告書ＸⅠ
佐賀県教育庁	先人からのおくりもの 佐賀県の近代化遺産
長崎県	
佐世保市教育委員会	早岐瀬戸遺跡発掘調査報告書(第3次・第6次調査)
雲仙市教育委員会	小路遺跡Ⅱ、雲仙市の埋蔵文化財について～守山大塚古墳の発掘調査～
熊本県	
熊本市観光文化交流局	山頭遺跡Ⅱ、池辺寺関連遺跡、硯川遺跡群1～5、桑鶴遺跡群2、小塚遺跡Ⅰ、熊本市埋蔵文化財調査年報第20号、熊本市埋蔵文化財発掘調査報告集 - 平成29年度 - 第2分冊、熊本市埋蔵文化財発掘調査報告集 - 平成29年度 - 第1分冊、上代町遺跡群Ⅰ、「熊本城炎上の謎に迫る!」
宇佐市教育委員会	立出遺跡、市内遺跡発掘調査概報26、国指定天然記念物「宇佐神宮社叢」緊急調査報告書
宮崎県	
宮崎県埋蔵文化財センター	宮崎県埋蔵文化財センター年報第22号、平底第2遺跡、平田遺跡 F 地点･G 地点、塚原遺跡 G・H・I・J 地点
宮崎市教育委員会	宮崎市試掘･確認調査報告書、城平遺跡、木崎遺跡、永尾遺跡(1区･4区･6区)、西田第3遺跡、清武上猪ノ原遺跡第5地区、大町第2遺跡、北中遺跡Ⅳ、生目古墳群Ⅶ
都城市教育委員会	松原地区遺跡(第7次調査)、土角遺跡、都城市内遺跡11、郡元西原遺跡(第2次調査)、安永城跡二之丸
鹿児島県	
鹿児島県立埋蔵文化財センター	埋文だより第76号～第77号
(公財)鹿児島県文化振興財団	平成30年度 要覧、～かごしまの遺跡～ 第16号～第18号
鹿児島大学埋蔵文化財調査センター	鹿児島大学構内遺跡(郡元団地)
その他	
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会	公立埋文協会報第61号・第62号、『埋蔵文化財の活用と地域研究』、『水中遺跡保護の在り方について』(報告) - 資料編2-
宗教法人天野山金剛寺	史跡金剛寺境内中心伽藍石垣整備報告書
富岡直人	安定化処理～大津波被災文化財保存修復技術連携プロジェクト～
岡嶋隆司	犬島貝塚
(一社)歴史文化研究所	上久世遺跡
(株)イビソク	平安京左京九条四坊三町跡・烏丸町遺跡、平安京左京三条三坊十二町跡・烏丸

(株)パスコ	御池遺跡、白河街区跡、平安京左京三条四坊十五町跡 公田平台遺跡発掘調査報告書

印刷仕様

紙　　質	表紙：サンマット160㎏（PP張り）
	本文：OKトップコートマット N70Kg
	折込：上質紙70㎏
D　T　P	Mac OS 10.14.5　Adobe InDesign CC 2019　Adobe Photoshop CC 2019
使用フォント	モリサワ OpenType フォント
	（リュウミン L-KL・中ゴシック BBB・太ゴシック B101・
	見出ゴシック MB31・じゅん101）
	ヒラギノ明朝 Pro W3
製　　本	無線綴じ

倉敷埋蔵文化財センター年報17
－平成29・30年度－

令和2年2月29日印刷発行

発 行　倉敷市教育委員会

編 集　倉敷埋蔵文化財センター

〒712-8046　倉敷市福田町古新田940番地

TEL 086-454-0600

The Annual Report Of Kurashiki Archaeological Center

Volume17 2017・2018

Kurashiki
Archaeological Center

February 2020